

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表(令和7年)

(国際コミュニケーション学科(昼間部)2年制)

科目区分	授業科目	単位数	授業時間数	うち実務教員による授業	単位数	授業時間数	うちシラバス添付	単位数	授業時間数	備考
講義	表現力	4	80							
演習		4	80							
講義	異文化コミュニケーション	8	160							
講義	日本文化研究	4	80							
講義	グローバル時事・経済	4	80	○	2	40				
講義	グローバル経営・マーケティング	4	80							
演習	マナートレーニング	8	160							
講義	プロジェクトチームワーク	4	80							
演習		4	80							
講義	文章表現	4	80							
演習		4	80							
講義	キャリアデザイン	8	160	○	4	80				
講義	検定対策	8	160							
演習	サービス接客スキルアップ	4	80							
演習	面接対策	4	80							
講義	グローバルコミュニケーション英語	8	160							
講義	TOEIC	8	160							
講義	外国語	8	160							
講義	ホスピタリティ	8	160							
講義	経営戦略	8	160							
講義	通訳翻訳基礎	8	160							
講義	一般教養 政治・経済	8	160	○	4	80				
講義	一般教養 地理・歴史	8	160							
講義	一般教養 数学	8	160							
講義	一般教養 英語	8	160							
講義	小論文対策	8	160							
総単位数/総授業時数		164	3,280		10	200			0	
卒業に必要な単位数/授業時数		92	1,840							

※ 選択科目は少なくとも240時間以上履修するものとする。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表(令和8年)

(国際コミュニケーション学科(昼間部)2年制)

科目区分	授業科目	単位数	授業時間数	うち 実務教員による 授業	単位数	授業時間数	うち シラバス 添付	単位数	授業時間数	備考
実習	コミュニケーション I	2	60							
講義	日本文化論	4	60							
演習	異文化コミュニケーション	4	60							
講義	ビジネスマナー I	4	60							
実習	パソコン演習 I	2	60							
演習	英語 I	4	60							
演習	英語 II	4	60	○	4	60				
講義	キャリアデザイン	4	60							
演習	TOEIC	2	30							
演習	検定対策 I	4	60							
演習	検定対策 II	4	60							
実習	検定対策 III	2	60							
講義	マーケティング基礎	2	30							
講義	グローバル政治経済	2	30							
演習	通訳翻訳基礎	4	60							
実習	ホスピタリティ I	2	60							
講義	経営戦略	4	60	○	4	60				
実習	コミュニケーション II	2	60							
講義	日本社会論	4	60							
演習	ビジネスマナー II	4	60							
実習	パソコン演習 II	2	60							
演習	英語 III	4	60							
講義	キャリアデザイン	4	60							
実習	TOEIC	2	30							
演習	検定対策 IV	4	60							
演習	検定対策 V	4	60							
実習	検定対策 VI	2	60							
実習	ホスピタリティ II	2	60							
実習	ビジネススキル	2	60							
演習	通訳翻訳	4	60							
講義	マネジメント	4	60							
講義	会計基礎	2	30							
講義	起業経営	2	30							
実習	プロジェクトチームワーク	2	60							
総単位数/総授業時数		104	1,860		8	120		0	0	
卒業に必要な単位数/授業時数		100	1800							

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義／演習	表現力	小林 英恵	4単位80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
「日本人と働くための日本語」の背景にある日本のビジネス文化、マナー、慣習などを深く理解し、体得することを目標とする。さらに、現代のビジネスシーンで必須となるITスキル(ビジネスメール、Excel、生成AIの活用など)を身につけ、就職活動や実際の業務において、適切かつ効果的なコミュニケーションができる実践的な「表現力」を養う。						
【講義概要】						
日本のビジネス環境で円滑に働くための基礎知識と、実践的なITスキルを総合的に学ぶ。日本人と働くためのビジネスルールの理解を深めながら、就職活動と実務に直結するパソコン演習を行う。社会人に求められる対人スキルとITスキルの両面から表現力を高めていく。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	第1章 第1節 日本人と働く心がまえ	1	第2章 第1節 時間厳守			
2	第2節 上司・先輩との付き合い方	2	第2節 就業時間			
3	第3節 同僚との付き合い方	3	第3節 テレワーク			
4	第4節 就業時間外のつきあい	4	第4節 あいさつ			
5	第5節 身だしなみ	5	第5節 お辞儀			
6	第6節 チームワーク	6	第6節 報告連絡相談			
7	第7節 配慮のある話し方	7	第7節 情報管理			
8	第8節 話の進め方	8	第8節 ハラスメント			
9	まとめ	9	まとめ			
10	第5章 PC基礎とローマ字入力(タイピングの型)	10	第5章 ビジネス文書①:社内文書と「書式のルール」			
11	漢字変換の仕組みと「同音異義語」への注意	11	ビジネス文書②:「箇条書き」と正確な表現			
12	ビジネスメール①: SNSとの違いとマナー	12	Excelの基礎①: マス目(セル)への正確な入力			
13	ビジネスメール②: 宛先管理とセキュリティ	13	Excelの基礎②: 数式を使った簡単な計算			
14	AI活用: 生成AIを使った「自己PR」の推敲	14	就活実践: Excelでの履歴書作成とPDF化			
15	まとめ	15	まとめ			
16	期末試験	16	期末試験			
17	総まとめ	17	総まとめ			
【成績評価方法】						
評価割合(計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	2	2	2	2	2	
定期試験20%、実技(タイピングの成長度やPC操作の正確性)20%、提出物(授業内で作成するデータ等)20%、授業態度20%、出席率20%の割合で総合的に評価する。実技や提出物において、操作の正確性が伴わなくても、意欲的に取り組み、他者と教え合う姿勢を見せた者は授業態度として加味し、評価する。						
【授業の特徴・形式】						
基本的には教科書を使用した講義形式となるが、適宜問題提起を行い、学生との対話を通じて授業を展開する。単なる知識のインプットにとどまらず、ディスカッション、文章の読解、語彙確認、文書作成などのアウトプット活動を豊富に取り入れる。また、実際の職場で直面するケーススタディや、PCを用いた実践的な演習を交えた指導を行う。						
【教員紹介】						
講師はデパート社員、小学校教員を経験後、2020年にEdTechデザイナーとして独立。2024年より日本語講師となり、日本語学校や専門学校で教鞭をとっている。日本語に加え、自身の経験を活かしてビジネス科目や日本の地理・文化科目も担当している。ITスキル、ビジネス実務、教育の3つの経験を融合させた実践的な指導を行う。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	異文化コミュニケーション	岡田 麻唯	4単位80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
現代のグローバル社会において、異文化に対する感受性と他者への共感性を高め、バランスの取れた異文化コミュニケーション能力を身につける。						
【講義概要】						
異文化コミュニケーションに関する諸問題を多面的に捉え、その解決のための方法について考える。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 授業の進め方・1年生の復習 2 コミュニケーションの定義 3 コミュニケーションと知覚 4 常識と価値観 5 文化とは何か 6 文化の違いを考える① 7 文化の違いを考える② 8 自文化と日本の文化の違いを紹介する 9 異文化適応 10 ステレオタイプと偏見 11 差別について考える① 12 差別について考える② 13 言語間の平等を考える① 14 言語間の平等を考える③ 15 試験に向けた復習 16 期末試験 17 まとめ	1 前期の復習 2 自己とアイデンティティ 3 自己開示 4 コンフリクト・マネジメント 5 ケーススタディとDIEメソッド 6 異文化ケーススタディを考える① 7 異文化ケーススタディを考える② 8 アサーティブ・コミュニケーション 9 異文化受容のプロセス① 10 異文化受容のプロセス② 11 日本での異文化体験① 12 日本での異文化体験② 13 日本での異文化体験③ 14 発表 15 試験に向けた復習 16 期末試験 17 まとめ				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	2	0	2	3	3	
授業態度を30%とし、授業の中で行うワークへの取り組みや協力的な態度を評価する。また、ワークシートの提出内容でどのくらいしっかりと取り組んだかを判断する。積極的な反応や発言・質問等は、授業態度に加味する。日本語のレベルに関係なく、取り組む努力が見られる態度を評価する。提出物の内容が優れている場合は、提出物の評価とする。						
【授業の特徴・形式】						
講義と個人ワーク、ペアワーク、グループワークを交えながら、授業を行う。クラスメートと協力したり、自分の意見を述べたり、主体的な参加態度が求められる。						
【教員紹介】						
社会教育団体で、11年間働き、スポーツ指導を通じた青少年育成事業に携わり、学生のボランティアリーダー育成にも従事。2015年から1年間、アメリカポートランド市のイメージンスクール(小学校)にて、日本語での授業のアシスタントティーチャーとして実務を行う。現在は、専門学校と複数の大学にて異文化コミュニケーション・プレゼンテーション・国際協働学習・インタビュー法のクラスを担当している。また、日本と海外の小中高生をつなぐ大学生ファシリテーターの指導も行なっている。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・半期			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	日本文化研究	山本 Sohia 慶子	2単位40時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
日本文化研究Ⅰで学んだ日本人が大事にしている人への配慮、和の感覚などを職場文化への理解へと応用し、日本語に内在する意味や意図を理解し、日本社会で働く際に日本人と円滑にコミュニケーションができるようにする。						
【講義概要】						
教科書を使用し、仕事で使う日本語の文章の読解、日本語の語彙確認をしながら、日本の職場文化における内在する文化的意味を理解し、行動のできるようにする。						
回	授業計画及び学習の内容					
前期／後期						
1 オリエンテーション						
2 第3章 第1節 話を聞くと						
3 第2節 指示を受けるとき						
4 第3節 注意を受けたとき						
5 第4節 退社時のマナー						
6 第6節 贈答のマナー						
7 ※コラム取り扱う ※第5・7・8は適宜						
8 進度調整						
9 第4章 第1節 ウチとソト						
10 第2節 名刺の扱い方						
11 第3節 仕事に役立つ雑談						
12 第4節 場所ごとの席次						
13 ※第5・6は適宜、※第7・8はなし						
14 進度調整						
15 半期のまとめ						
16 期末試験						
17 試験フィードバック・復習						
【成績評価方法】						
採点割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	6	1	1	1	1	
講義全体を100点満点として採点する。テスト60点、実技10点、授業への参加・意欲10点、提出物10点、出席率10点から成績評価を行う。						
【授業の特徴・形式】						
基本的には教科書を使用した講義形式となるが、適宜、問題提起を行い、学生と対話をする。ディスカッション、文章の読解、語彙確認、ロールプレイ、書き、等を入れる。						
【教員紹介】						
国家資格キャリアコンサルタント、日本語教師、高等学校英語・商業教員資格保有。銀行、5つ星ホテル、航空会社や人事経験、大学のキャリア相談経験から日本社会や職場での円滑なコミュニケーションの重要性や言語を支援。骨董品・茶道着物など日本文化家業ある母が京都出身、年数回京都滞在。						

専門学校 東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・半期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	グローバル時事・経済	柳沼壽	2単位40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>1. 反グローバル化という流れを経済学で理解できる。</p> <p>2. 企業経営がこれからも世界をターゲットに活動し、循環経済の考えを取り入れて地球環境問題に責任を果たせることを理解する。</p>			
【講義概要】			
<p>現在の、反グローバル化の流れは、自由貿易理論の欠陥やより長期的な循環過程として説明される。</p> <p>次に、企業経営の基本原則とグローバル化について説明し、日本の企業経営における特徴を論じる。</p> <p>最後に、企業経営の将来に必要なイノベーションと、地球環境問題の解決に貢献するための循環経済の枠組みを説明する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	イントロダクション	16	循環経済③
2	グローバル化と反グローバル化①	17	期末(きまつ)テスト
3	グローバル化と反グローバル化②		
4	Management①		
5	Management②		
6	Managing Across Culture①		
7	Managing Across Culture②		
8	Managing Across Culture③		
9	中間(ちゅうかん)テスト		
10	日本の企業経営①		
11	日本の企業経営②		
12	Innovation①		
13	Innovation②		
14	循環経済①		
15	循環経済②		
【成績評価方法】			
<p>講義全体を100点満点として厳格に採点する。内訳は、小テスト3回(各20点、計60点)、最終レポート(30点)、課題提出(10点)。</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>授業は基本的に講義形式だが、テーマに応じてグループディスカッションなどを行う。</p> <p>新聞などの資料も使用する。授業は日本語で始めますが、英語に変えることもある。</p> <p>担当教員は日本開発銀行(現日本政策投資銀行)などで役職を歴任し、企業向けの研修や講演なども数多く手がけている。これらの実務経験に基づいて授業を展開する。</p>			

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・半期			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	グローバル経営・マーケティング	吉田和正	2単位40時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>経営やマーケティングを、より実践的に学ぶ授業として想定しております。 起業やビジネスプラン、マネジメント、事業運営に必要な考え方を扱い、学生が自分なりに企画やアイデアを考えられるようにプレゼンテーションしてもらいます</p>						
【講義概要】						
<p>レクチャーでは、新しい商品や市場への参入、競合との差別化、顧客理解に基づく施策などが学べます。 市場調査: 新規市場の評価、エントリー戦略 競争分析: 競合他社の戦略分析、競争優位性の確保 ブランディング: 地域ごとのメッセージ調整 多文化理解: 異なる文化や価値観への適応力 デジタルマーケティング: 海外向けプロモーション手法</p>						
回	授業計画及び学習の内容					
1	市場調査					
2	市場調査					
3	プレゼンテーション					
4	多文化理解					
5	デジタルマーケティング					
6	日本の経営実例					
7	日本の経営実例					
8	日本の経営実例					
9	プレゼンテーション					
10	グローバル経営					
11	グローバル経営					
12	グローバル経営					
13	プレゼンテーション					
14	期末のテストのためのレクチャー					
15	プレゼンテーション準備					
16	期末試験 プレゼンテーション					
17	まとめ					
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	3	2	0	2	3	なし
<p>主に定期試験を30%とし、授業態度として授業への取り組みを見る。発言は授業態度に加味する。トピックによっては実技(ロールプレイング等)があるので、これらへの取り組みも評価する。発言や実技に正確さが伴わなくても、きちんと取り組んだ者は評価する。</p>						
【授業の特徴・形式】						
<p>講義形式を基本とするが、トピックによっては実技(ロールプレイング)、グループワーク、ディスカッションなどを行う テストはすべてプレゼンテーションで行います。</p>						
【教員紹介】						
<p>ロンドン大学卒業後、大手自動車メーカーの国際本部に所属し、欧州駐在を8年間経験。さらに、外資系企業日本支社の責任者を務めた後、日系人材会社にて東南アジアでの現地法人設立にも携わるなど、豊富な国際ビジネス経験を有する。これらの経営・マーケティング分野における実務経験を基に、国際感覚や実践的なビジネス教養を養う授業を展開する。</p>						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
演習	マナートレーニング	高橋 俊介	4単位80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
日本で安心して生活するために一番早いのが「法を守ること」であることを周知し、日本における法律とは(中身～強さ・権威・強制力等)を知る。日本人と同じものを同じように守ることが大切であることを理解する。						
【講義概要】						
前期は労働に関する法律やきまあたりを中心に、またそれらに付随する働く環境に関しても学ぶ。後期は生活に関する法律、条令、罰則、判例等を学ぶ。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 オリエンテーション／法のピラミッド、憲法・法律・条令等 2 憲法～慣習法まで 3 《ワーク》母国と日本の法、共通点と違うところは？ 4 働くことに関する法律(入管法・労働法関連) 5 働くことに関する法律(入管法・労働法関連) ② 6 就労に関する基本的な権利と義務 7 中間テスト・まとめ 8 労働契約、同意、労働通知書、賃金支払の5原則 9 休憩と休日、様々な休暇 10 福利厚生、手当 11 福利厚生、手当 ②(昔と今を比べる等) 12 《ワーク》実際にどんな会社があるか、調べて発表 13 就業規則 14 日本の働き方の今とこれから(新しい法律と未来予測) 15 まとめ 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習	1 日常生活のルールとマナー(イントロダクション) 2 ゴミの分別と出し方、騒音、その他生活のルール 3 ゴミの分別と出し方、騒音、その他生活のルール② 4 契約に関する基本的な知識(賃貸契約など) 5 契約に関する基本的な知識(賃貸契約など)② 6 交通ルールと安全(道路交通法関連) 7 日本の交通ルールの基本(歩行者、自転車、自動車) 8 中間テスト・まとめ 9 《ワーク》母国と日本の生活に関する法、共通点と違い 10 SNS利用の注意点(誹謗中傷、情報共有など) 11 不審な誘い(闇バイトなど)への対処法 12 困ったときの相談先(大学の窓口、専門機関など) 13 刑法:日本での犯罪と罰則 14 刑法:日本での犯罪と罰則② 15 まとめ 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習				
【成績評価方法】						
	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
採点割合	3	2	0	2	3	
主に定期試験を30%とし、授業態度として授業への取り組みを見る。発言は授業態度に加味する。グループワークやディスカッションは、実技として評価。						
【授業の特徴・形式】						
講義形式を基本とするが、トピックによってはグループワーク、ディスカッションなども行う。また、労働や生活に関する難しい語彙の習得をしなければならないため、プリントや小テストなどで暗記にも力を入れる。						
【教員紹介】						
広告代理店や人材系企業等で営業職を経験。日本語教師の資格を取得後、日本語学校で教務兼事務職を経験。現在はフリーとして日本語講師のみならず、就職対策やキャリア教育、ビジネス系科目の講師など幅広く携わっている。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義・演習	プロジェクトチームワーク	倉澤雅子	4単位80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>チームで課題を見つけ、チームで課題を解決できるようになる。</p> <p>具体的には、チームの課題に沿って、プレゼンテーションを作成し、日本語での発表会を実施する。</p> <p>毎年参加している「SDGs探求AWARDS」が今年も開催されれば、グループ毎に作品をエントリーする予定。</p>						
【講義概要】						
<p>動機付けの課題は「人権」とする。各スキルを段階的に身につけ課題解決に役立てる。</p> <p>スキル: コミュニケーション能力、調査方法・技術、分析力、集約、創作する、伝える、反省、改善、PDCA、スケジューリング、IT活用、プレゼンテーション、日本語能力etc.,</p>						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 オリエンテーション、2026年度の授業の進め方 2 人権について①、Google の使い方① 3 人権について②、Google の使い方② 4 人権について③、Google の使い方③ 5 プレゼンテーションについて① 6 プレゼンテーションについて② 7 文章のまとめ方・ファイリングチェック 8 グループ分け・グループ交流 9 グループのテーマ決め 10 テーマを選んだ理由・個人のテーマ(役割分担)決め 11 個人テーマの調査① 12 個人テーマの調査② 13 個人テーマの解決策・アクション① 14 個人テーマの解決策・アクション② 15 各自スライド作成① 16 各自スライド作成②・ファイリングチェック 17 各チーム前半のスライド紹介	1 前半の取り組み確認 2 チームのスライドまとめへ 3 表紙・目次等のスライド 4 引用参考文献のスライド 5 チームのスライド完成へ① 6 チームのスライド完成へ②・ファイリングチェック 7 発表原稿・SDGsエントリーシート作成① 8 発表原稿・SDGsエントリーシート作成② 9 発表原稿・SDGsエントリーシート作成③ 10 発表原稿・SDGsエントリーシート作成④ 11 SDGs探求AWARDSエントリー(12月11日) 12 SDGs探求AWARDSエントリー(予備日12月18日) 13 発表会リハーサル①(1月15日) 14 発表会リハーサル②(1月22日) 15 発表会(1月29日) 16 全体振り返り①・ファイリングチェック 17 全体振り返り②				
【成績評価方法】						
	実技	ファイリング	提出物	授業態度	出席率	その他
採点割合	3	1	1	3	2	
<p>講義全体を100点満点として厳格に採点する。内訳は実技(30点)、ファイリング(10点)、提出物(10点)、授業態度(30点)、出席率(20点)とする。特にファイリングについては、毎授業配布する授業計画プリントを適切に管理・保存しているかを評価に算入する。</p>						
【授業の特徴・形式】						
<p>学生がさまざまなスキルを駆使し課題に取り組み解決していく。講師はサポーター、ファシリテーターとして学生をバックアップしていく。2021年より1年生あるいは、2年生のプロジェクトチームワークを4年連続担当。Google社、Microsoft社の各機能並びに動画制作などIT知識を活用し、1、2年生が4年連続でチームあるいは個人でSDGs探求AWARDSに作品を参加させることの指導並びに支援を行ってきました。</p>						
【教員紹介】						
<p>2012年9月に日本語教師養成講座(420時間以上)終了 同年10月より日本語教師として採用いただき、現在まで13年ほど継続して非常勤講師として続けさせていただいています。日本語学校4年、技能ボランティア派遣協会より派遣され、スリランカ日本語教育協会2年、埼玉県立高等学校多文化共生推進員2年、専門学校日本語講師8年と勤めさせていただいております。TSAには国際コミュニケーション学科設立時から参加させていただき、7年目を迎えました。主な担当科目は、プロジェクトチームワーク、文章表現力、表現力、敬語、検定対策等です。</p>						

専門学校東京声優・国際アカデミ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義・演習	文章表現	阿部りら	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
・日本語の文章構成(序論・本論・結論)を理解し、論理的で一貫性のある文章が書けるようになる。JLPT読解問題で求められる要点把握や意見抽出の技術を習得し、説得力のある要約や意見文が作成できる。						
【講義概要】						
本講義では、日本語能力試験(JLPT)の読解問題を通じて、説得力のある文章表現力を養成する。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	オリエンテーション	1 オリエンテーション				
2	書き言葉になれよう/漢語と和語	2 文章の構造/筆者の気持ちを理解す				
3	対比 他のものと比べる/問題	3 問いを解く技術を身に着ける 指示				
4	雨のおかげで草が育った	4 メール/手紙				
5	言い換え 他の言葉で言い換える	5 「だれが」「何が」「何を」				
6	遅刻してしまいそうだ/ペット家族	6 メモ/指示文/エッセイ				
7	比喩 他のものと比べる	7 検定テスト対策 1				
8	電車でお年寄りに/長い文に慣れる	8 検定テスト対策 2				
9	疑問提示文	9 検定テスト対策 3				
10	検定テスト対策 1	10 下線分の意味を問う				
11	検定テスト対策 2	11 意見文/説明文				
12	検定テスト対策 3	12 理由を問う/例を問う				
13	知らない言葉を推測/後の内容を予測	13 商品の広告/募集広告 1				
14	主張表現/自分の意見であることを示す	14 商品の広告/募集広告 2				
15	指示語/テストの説明 対策	15 グラフ/期末試験の説明				
16	期末試験	16 期末試験				
17	試験フィードバック・復習	17 試験フィードバック・復習				
【成績評価方法】						
	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
採点割合	5	0	0	3	2	
主に定期試験を50%とするが、これはJLPT(7月・12月)前の中間試験の結果と学期末の試験を意味する。また、「生活に関する漢字」の小テストも毎回行う。これは提出物として加味する。授業態度(30%)として授業への取り組みも見る。発言は授業態度に加味する。発言や実技に正確さが伴わなくても、きちんと取り組んだ者は評価する。						
【授業の特徴・形式】						
本授業は、講義と演習を組み合わせた形式で実施します。講義では日本語能力試験(JLPT)の読解問題を通じ、論理的な文章構成を学びます。その上で、実際に説得力のある意見文や要約を作成する演習を取り入れ、実践的な文章表現力を養います。また、語彙力を定着させるため、毎回の授業冒頭で『生活に関する漢字』の小テストを行い、即時フィードバックを行うことで、正確な言語運用能力の習得を目指します						
【教員紹介】						
不動産、自動車等の一般企業、病院の相談員などをした後、専門学校で旅行教科や日本語を教える講師として働いておりました。講師歴は7年ほどですが、また日本語講師の大学副専攻の資格、旅行業務取扱管理者などを持っております。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	キャリアデザイン	玉井千鶴／川仁聡一郎	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>就職の内定と就労ビザ、特定技能ビザを取得して日本で社会人として活躍することを目指す。 日本で働くということ、アルバイトとの違い社会人としての心構えについて意識をする。 1年先ではなく、10年後を見越した中長期のキャリアプランを考える。</p>						
【講義概要】						
<p>留学生在が日本国内およびグローバル社会で自律的にキャリアを形成するための基礎知識とスキルを習得します。 日本の独特な採用慣行(新卒一括採用、メンバーシップ型雇用など)を理解した上で、自身の強みや価値観を言語化し、具体的なアクションプラン(就職活動計画)を策定することを目指します。</p>						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	オリエン 留学生の就職状況とキャリアデザインの意義	1 ビジネスマナーと敬語 復習 手紙の書き方				
2	日本の雇用慣行を知る 入管法の変更事項	2 自己分析の再構築				
3	10年後の自分 ・ キャリアビジョン	3 業界・企業研究の深堀				
4	キャリア・ロードマップ: 目的地までの「地図」を作る、論理的でプロセス重視の表現。	4 技人国企業による会社説明会				
5	履歴書写真撮影 スーツチェック 入室練習	5 面接指導				
6	企業研究と自己PR作成	6 10年後のグランドデザイン				
7	志望動機作成に関して説明	7 自分で企業を見つけるには?				
8	職種・働き方の理解	8 在留資格(就労ビザ)の基礎知識				
9	模擬適性検査実施	9 エントリーシート実習				
10	エントリーシート記入方法説明	10 Webテスト・適性検査の攻略 年賀状				
11	特定技能の種別内容と資格取得の試験	11 日本流ビジネスマナーと敬語 証明書の依頼				
12	履歴書確認と 求人票の見方を説明	12 面接練習 グループ面接対策				
13	技人国企業による会社説明会	13 逆質問とプレゼン				
14	留学生の強みの活かし方	14 先輩の体験談				
15	面接練習	15 マイロードマップの作成				
16	期末試験	16 期末試験				
17	フィードバック	17 マイロードマップの作成 発表				
【成績評価方法】						
	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
評価割合 (計10)	3	0	0	2	5	
講義全体を100点満点として採点。出席50点、試験30点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。						
【授業の特徴・形式】						
<p>自己分析や業界研究の結果を言語化するワーク、およびグループディスカッションや模擬面接等の実践演習を毎時間取り入れる。これにより、受動的な学習から脱却し、自らのキャリアを自律的に設計する「自主性」と「発信力」を養う。単なる企業とのマッチング支援に留まらず、日本での就業において不可欠な法的知識である「在留資格(就労ビザ)の変更申請」に関する具体的な指導を行う。職務内容と専攻領域の関連性など、入管法に基づいた論理的な申請書類作成能力を身につけさせ、内定から入社に至るまでのプロセスを完結させる実務的な指導体制を敷く。</p>						
【教員紹介】						
<p>玉井／商社およびメーカーにて、長年にわたり貿易管理、ロジスティクス・SCM、海外営業に従事。南米、ヨーロッパ、アジア諸地域など、世界各国のビジネス現場に深く関わってまいりました。教育現場においては、学習塾での指導に始まり、現在は留学生を対象とした貿易実務、英会話、ビジネスTODO・マナー、卒業研究(SDGsテーマ)、就職指導まで幅広く担当しています。また、登録支援機関での就労・生活支援経験も有しており、留学生の日本での学びとキャリアに寄り添った、実践的かつ安心感のある指導を行います。</p> <p>川仁／24年間、専門学校で留学生の就職支援、進路指導を行ってきた。前期から早期に履歴書をほぼ完成させ面接等の指導を行い内定に向けて指導する。後期は内定した学生のビザ申請の指導を行い、卒業までに就労ビザ・特定技能ビザの通過を目指す。</p>						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	検定対策(Aクラス)	倉澤雅子	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
就職のため、大学受験のために、保有日本語能力として証明できる「N2」の全員合格を目指します。 しかしながら、Aクラスはすでに半数近くがN1,N2に合格していることも鑑み、4月開始当初より、N1とN2を併用し、全員が高いモチベーションを持って、アカデミックな言語知識(文法・文字語彙)の習得を目指します。						
【講義概要】						
「上級で学ぶ日本語」のテキストを使い、上級(N1,N2)の文法、文字語彙の知識と産出能力向上を図ります。 また、小テスト(文法・文字語彙N1・N2各5回計10回)と文法演習・文字語彙演習では、JLPTのN1/N2の言語知識(文法・文字語彙)の問題構成を紹介し、その出題傾向、勉強・対策ポイントの解説を行いながら、問題を解き進め、実力向上に努めます。(文法演習はN1,N2のテキスト併用、文字語彙演習はN2のテキスト使用)						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	ガイダンス、前半の進め方説明、小テスト①練習	1 後半進め方、小テスト等配布と説明、文法演習①				
2	上級で学ぶ日本語①、小テスト②、文法演習①	2 小テスト①、文法演習②、文字語彙演習①				
3	上級で学ぶ日本語②、小テスト③、文字語彙演習①	3 小テスト②、文法演習③、文字語彙演習②				
4	上級で学ぶ日本語③、小テスト④、文法演習②	4 小テスト③、文法演習④、文字語彙演習③				
5	上級で学ぶ日本語④、小テスト⑤、文字語彙演習②	5 小テスト④、文法演習⑤、文字語彙演習④				
6	上級で学ぶ日本語⑤、小テスト⑥、文法演習③	6 JLPT模試(N1とN2)＜第1回目＞				
7	上級で学ぶ日本語⑥、小テスト⑦、文字語彙演習③	7 <第1回目＞振り返り				
8	JLPT模試(N1とN2)＜第1回目＞ 文法演習④	8 JLPT模試(N1とN2)＜第2回目＞				
9	<第1回目＞振り返り 文字語彙演習④	9 <第2回目＞振り返り				
10	上級で学ぶ日本語⑦、小テスト⑧、文法演習④	10 上級で学ぶ日本語⑩				
11	JLPT模試(N1とN2)＜第2回目＞ 文字語彙演習⑤	11 上級で学ぶ日本語⑪				
12	<第2回目＞振り返り 文法演習⑥	12 上級で学ぶ日本語⑫				
13	上級で学ぶ日本語⑧、小テスト⑨、文字語彙演習⑥	13 上級で学ぶ日本語⑬				
14	前期試験対策① 小テスト⑩	14 後期試験対策①				
15	前期試験対策②	15 後期試験対策②				
16	前期末試験	16 後期末試験				
17	前半振り返り・後半ガイダンス 上級で学ぶ日本語⑨	17 後半振り返り				
【成績評価方法】						
採点割合	テスト	小テスト	JLPT模試	授業態度	出席率	その他
	3	1	1	3	2	
講義全体を100点満点として厳格に採点する。内訳は、テスト(30点)、小テスト(10点)、JLPT模試(10点)、授業態度(30点)、出席率(20点)とする。小テストおよびJLPT模試については、単なる得点だけでなく学修への取り組み状況も含めて総合的に評価する。						
【授業の特徴・形式】						
答が合っていればいいと言うのではなく、どうしてそうなるのかを理解する力を養い、伸びる力のつく授業を心掛けています。例文などで説明し、学生に届く説明を心掛けています。学生とは、問題を解きながら、明るく対話しながら進め、お互いに仲良くなれるように心がけています。日本語が上手になって皆の留学生生活に少しでも役に立つようにと授業を考えています。						
【教員紹介】						
2012年9月に日本語教師養成講座(420時間以上)終了 同年10月より日本語教師として採用いただき、現在まで13年ほど継続して非常勤講師として続けさせていただいています。日本語学校4年、技能ボランティア派遣協会より派遣され、スリランカ日本語教育協会2年、埼玉県立高等学校多文化共生推進員2年、専門学校日本語講師8年と勤めさせていただいております。TSAには国際コミュニケーション学科設立時から参加させていただき、7年目を迎えました。主な担当科目は、プロジェクトチームワーク、文章表現力、表現力、敬語、検定対策等です。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	検定対策(Bクラス)	倉澤雅子	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>就職のため、大学受験のために、保有日本語能力として証明できる「N2」の全員合格を目指します。 Bクラスは約半数がN3取得者で他はN3以下のレベルとなっています。JLPTの「N2」のレベル到達のための、日本語文法の正しい知識習得・文字語彙力(表記・文脈規定・類義語・用法等)の拡大を目指します。</p>						
【講義概要】						
<p>「中級から学ぶ日本語」のテキストを使い、中上級(N2、N3)の文法、文字語彙の知識と産出能力向上を図ります。 また、小テスト(文法・文字語彙N2・N3各5回計10回)と文法演習・文字語彙演習では、JLPTのN2/N3の言語知識(文法・文字語彙)の問題構成を紹介し、その出題傾向、勉強・対策ポイントの解説を行いながら、問題を解き進め、実力向上に努めます。(文法・文字語彙の演習問題は主にN2のテキストを使います)</p>						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	ガイダンス、前半の進め方説明、小テスト①練習	1 後半進め方、小テスト等配布と説明、文法演習①				
2	中級から学ぶ日本語①、小テスト②、文法演習①	2 小テスト①、文法演習②、文字語彙演習①				
3	中級から学ぶ日本語②、小テスト③、文字語彙演習①	3 小テスト②、文法演習③、文字語彙演習②				
4	中級から学ぶ日本語③、小テスト④、文法演習②	4 小テスト③、文法演習④、文字語彙演習③				
5	中級から学ぶ日本語④、小テスト⑤、文字語彙演習②	5 小テスト④、文法演習⑤、文字語彙演習④				
6	中級から学ぶ日本語⑤、小テスト⑥、文法演習③	6 JLPT模試(N2とN3)<第1回目>				
7	中級から学ぶ日本語⑥、小テスト⑦、文字語彙演習③	7 <第1回目>振り返り				
8	JLPT模試(N2とN3)<第1回目> 文法演習④	8 JLPT模試(N2とN3)<第2回目>				
9	<第1回目>振り返り 文字語彙演習④	9 <第2回目>振り返り				
10	中級から学ぶ日本語⑦、小テスト⑧、文法演習④	10 中級から学ぶ日本語⑩				
11	JLPT模試(N2とN3)<第2回目> 文字語彙演習⑤	11 中級から学ぶ日本語⑪				
12	<第2回目>振り返り 文法演習⑥	12 中級から学ぶ日本語⑫				
13	中級から学ぶ日本語⑧、小テスト⑨、文字語彙演習⑥	13 中級から学ぶ日本語⑬				
14	前期試験対策① 小テスト⑩	14 後期試験対策①				
15	前期試験対策②	15 後期試験対策②				
16	前期末試験	16 後期末試験				
17	前半振り返り・後半ガイダンス 中級から学ぶ日本語⑨	17 後半振り返り				
【成績評価方法】						
採点割合	テスト	小テスト	JLPT模試	授業態度	出席率	その他
	3	1	1	3	2	
<p>講義全体を100点満点として厳格に採点する。内訳は、テスト(30点)、小テスト(10点)、JLPT模試(10点)、授業態度(30点)、出席率(20点)とする。小テストおよびJLPT模試については、単なる得点だけでなく学修への取り組み状況も含めて総合的に評価する。</p>						
<p>答が合っていればいいと言うのではなく、どうしてそうなるのかを理解する力を養い、伸びる力のつく授業を心掛けています。例文などで説明し、学生に届く説明を心掛けています。学生とは、問題を解きながら、明るく話しながら進め、お互いに仲良くなれるように心がけています。日本語が上手になって皆の留学生生活に少しでも役に立つようにと授業を考えています。</p>						
【教員紹介】						
<p>2012年9月に日本語教師養成講座(420時間以上)終了 同年10月より日本語教師として採用いただき、現在まで13年ほど継続して非常勤講師として続けさせていただいています。日本語学校4年、技能ボランティア派遣協会より派遣され、スリランカ日本語教育協会2年、埼玉県立高等学校多文化共生推進員2年、専門学校日本語講師8年と勤めさせていただいております。TSAには国際コミュニケーション学科設立時から参加させていただき、7年目を迎えました。主な担当科目は、プロジェクトチームワーク、文章表現力、表現力、敬語、検定対策等です。</p>						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	グローバルコミュニケーション英語	仁井田拓／天池紋葉	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
英語で基本的な接客挨拶、案内、電話と対面での顧客対応を丁寧な表現でできるようになる。これらを日本語訳を使用することによって日本での日本人対応も可能になる。						
【講義概要】						
ホテル・観光・飲食・接客サービスの現場で必要となる実践的英語コミュニケーション能力を養成する。接客表現、電話対応、案内、クレーム対応などをロールプレイを通して学び、外国人顧客に対して適切かつ丁寧に対応できる英語運用力の習得を目指す。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1 敬語1		1 居酒屋				
2 敬語2		2 販売店の基本				
3 敬語3		3 アパレル1				
4 接客の基本1		4 アパレル2				
5 接客の基本2		5 ドラッグストア				
6 接客の基本3		6 スーパー				
7 会計		7 家電量販店				
8 飲食店の基本1		8 コンビニエンスストア				
9 飲食店の基本2		9 宿泊施設1				
10 飲食店の基本3		10 宿泊施設2				
11 飲食店の基本4		11 カラオケ店、レンタルビデオ店				
12 飲食店の基本5		12 電話対応				
13 飲食店の基本6		13 急病人				
14 ファーストフード店		14 緊急時の対応				
15 時間調整日		15 時間調整日				
16 期末試験		16 期末試験				
17 試験フィードバック・復習		17 試験フィードバック・復習				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	3	2	0	2	3	
講義全体を100点満点として採点する。テスト30点、実技20点、授業態度20点、出席率30点から成績評価を行う。出席率が最重要。小テストがほぼ毎時間行われる。小テストは前回のクラスで履修した内容が出題され、期末試験の問題は全て小テストから出題される。						
【授業の特徴・形式】						
実務場面を再現したアクティブラーニングを中心に、ペアワーク、ロールプレイ、シチュエーション練習、リスニング演習、発音トレーニング、ケーススタディを取り入れた授業。						
【教員紹介】						
仁井田／東京都内で英語と貿易を専門学校で外国人留学生に教えていた。米国で24年間、学生から社会人まで生活した経験あり。米国の市場を営業活動して売上向上させた経験あり。 天池／講師はTOEICスコア980点、英検1級の資格を持ち、翻訳家および英語講師としての実務経験も豊富です。英語、日本語、関西弁の3ヶ国語を操る自称トリリンガル講師は、親しみやすく、誰にでも気軽に話しかけられる雰囲気です。授業を進めます。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	TOEIC	天池紋菜	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>Students will aim to achieve a TOEIC score of 600 or higher. They will develop the ability to understand and respond to TOEIC Listening and Reading questions accurately. The course emphasizes not only score improvement but also the ability to logically explain answers and apply English in practical situations.</p>						
【講義概要】						
<p>Main Textbooks: 1. Official TOEIC Listening & Reading Training 2: Listening 2. Official TOEIC Listening & Reading Training 2: Reading</p>						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	9-Apr Introduction	1	1-Oct Review of the previous semester			
2	16-Apr Listening: Section 5	2	8-Oct Listening: Section 11			
3	23-Apr Reading: Section 5	3	15-Oct Reading: Section 11			
4	7-May Listening: Section 6	4	22-Oct Listening: Section 12			
5	14-May Reading: Section 6	5	29-Oct Reading: Section 12			
6	21-May Listening: Section 7	6	5-Nov Listening: Section 13			
7	28-May Reading: Section 7	7	12-Nov Reading: Section 13			
8	4-Jun Listening: Section 8	8	19-Nov Listening: Section 14			
9	11-Jun Reading: Section 8	9	26-Nov Reading: Section 14			
10	18-Jun Listening: Section 9	10	3-Dec Listening: Section 15			
11	25-Jun Reading: Section 9	11	10-Dec Reading: Section 15			
12	2-Jul Listening: Section 10	12	17-Dec Listening: Section 16			
13	9-Jul Reading: Section 10	13	14-Jan Reading: Section 16			
14	16-Jul Comprehensive Review: Listening	14	21-Jan Comprehensive Review: Listening			
15	23-Jul Comprehensive Review: Reading	15	28-Jan Comprehensive Review: Reading			
16	30-Jul Final Exam	16	4-Feb Final Exam			
17	6-Aug Final Exam Review and Semester Wrap-Up	17	11-Feb Final Exam Review and Semester Wrap-Up			
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	2	-	-	4	4	
Final Examination (20%) / Class Participation and Attitude (40%) / Attendance (40%)						
<p>1. Final Examination (20%): A (≥90), B (≥80), C (≥70), D (≥50), F (<50 or academic misconduct) 2. Class Participation and Attitude (40%): Evaluated based on accuracy, activeness, and classroom behavior 3. Attendance (40%): Based on the school's attendance policy *Final grades are determined comprehensively based on the above criteria.</p>						
【授業の特徴・形式】						
<p>1. Practice-based lessons using TOEIC-style questions 2. Explanation of typical TOEIC situations and contexts 3. Training students to logically explain why they chose each answer in both English and Japanese</p>						
【職員紹介】						
<p>The instructor holds a TOEIC score of 980 and the EIKEN Grade 1 certification, with professional experience as both a translator and an English instructor. A self-proclaimed trilingual speaker of English, Japanese, and Kansai dialect, the instructor brings a friendly and approachable style to the classroom.</p>						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	経営戦略(国際ビジネス)	多田徳彦	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
① 代表的な企業戦略、分析ツールを知る(少なくとも言葉の意味を理解) ② 日本を代表する企業につき表面的な知識にとどまらず実態や課題についても知る ③ 業績と株価の関係を知る						
【講義概要】						
① 現代企業の戦略解説し具体的な使い方を紹介する ② 日本の一部上場企業の中から毎回1社を選び、強みと弱み、同業比較、将来性につき説明する。また過去5年間の業績と株価の関係を指摘し、理由を考える						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 オリエンテーション、興味の確認、株式会社とは。 2 上場企業とは、ステークホルダーとは。具体的企業研究。 3 プラットフォーム戦略とは。具体的企業研究。 4 SWOT分析とは。具体的企業研究。 5 MVVとは。具体的企業研究。 6 M&A戦略とは。具体的企業研究。 7 組織文化とは。具体的企業研究。 8 市場シェアとは。具体的企業研究。 9 標準化戦略とは。具体的企業研究。 10 イノベーション能力とは。具体的企業研究。 11 キャッシュフローとは。具体的企業研究。 12 DXとは。具体的企業研究。 13 サステナビリティとは。具体的企業研究。 14 サブスクリプションモデルとは。具体的企業研究。 15 前期講義内容の理解度試験 16 期末試験 17 まとめ	1 オリエンテーション／ 2 社会的責任(CSR)とは。具体的企業研究。 3 コアコンピタンスとは。具体的企業研究。 4 知的財産権とは。具体的企業研究。 5 グローバル展開戦略とは。具体的企業研究。 6 人工知能(AI)の活用とは。具体的企業研究。 7 D2C戦略とは。具体的企業研究。 8 オムニチャネル戦略とは。具体的企業研究。 9 オープンイノベーションとは。具体的企業研究。 10 顧客関係管理(CRM)とは。具体的企業研究。 11 Eコマース戦略とは。具体的企業研究。 12 コンプライアンス・サイバー・サプライチェーンリスクとは。 13 インフルエンサーマーケティングとは。具体的企業研究 14 日本の企業構造。具体的企業研究。 15 後期講義内容の理解度試験。 16 期末試験 17 まとめ				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	5	0	0	1.5	3.5	
授業態度を30%とし、授業の中で行うワークへの取り組みや協力的な態度を評価する。また、ワークシートの提出内容でどのくらいしっかりと取り組んだかを判断する。積極的な反応や発言・質問等は、授業態度に加味する。日本語のレベルに関係なく、取り組む努力が見られる態度を評価する。提出物の内容が優れている場合は、提出物の評価とする。						
【授業の特徴・形式】						
社会に出て活かせる用語、戦略を表面的に理解するに留めず、実践的且つ本質的に理解できるように指導する。						
【教員紹介】						
担当教員は、38年間総合商社で実際の国際ビジネスに携わり理論を実践で使用してきており、この経験を授業に活用する。また、現在は独立行政法人中小企業基盤整備機構にて海外展開のアドバイザーをしており、中小企業への理解、知見がある。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	通訳翻訳基礎(Aクラス)	梅田美由記	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
日本の会社組織、特に接客業に携わる部門で働く場合に必要な日本語を学ぶ。更に、瞬間的に聞き、話せるような瞬発力を身に着けることが目標。						
【講義概要】						
日本の接客業での従業員に求められる日本語の要求レベルは高い。特に、企業で働く場合に、対応できるきちんとした接客日本語を身に着ける事ができるようにする内容となっている。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 日本の接客サービスの心構え概略 敬語導入 2 敬語 バリエーション 3 敬語/客の迎え見送り/営業時間/トイレの案内 4 聞き取れない/わからない よく使う一言表現 5 会計時の表現 6 謝罪/飲食店での表現 7 飲食店での表現 8 飲食店の表現 9 飲食店での表現 10 飲食店での表現 11 ファーストフード店での表現 12 居酒屋での表現 13 居酒屋での表現 パブでの表現 14 単語&ミニフレーズ/販売店での表現 15 前期の総復習 16 期末試験 17 期末試験の講評	1 販売店での表現 2 アパレル業界での表現 3 アパレル業界での表現/雑貨店での表現 4 ドラッグストアでの表現 5 化粧品店での表現/スーパーでの表現 6 家電量販店での表現/単語&ミニフレーズ 7 コンビニでの表現/単語&ミニフレーズ 8 宿泊施設での表現 9 宿泊施設/単語&ミニフレーズ/カラオケ 10 レンタルビデオ店/教育現場での表現 11 単語&ミニフレーズ/電話対応 12 電話対応/単語&ミニフレーズ 13 急病人/地震/火災 14 避難/落とし物・忘れ物/単語&ミニフレーズ 15 前期の総復習 16 期末試験 17 期末試験の講評				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	3	3	1	2	1	
講義全体を100点満点として採点する。テスト30点、実技30点、提出物10点、授業態度20点、出席率10点から成績評価を行う。 <重視項目>1: 授業中での態度(積極性、集中力、考える力) 2: 実技は授業態度に含む						
【授業の特徴・形式】						
最初に丁寧に言葉や表現を説明する。音声も何度か流し、発音させ、シャドーイングさせる。2人またはグループで会話形式で実践的に会話させる。練習を繰り返し、スムーズになるまで慣れさせる。						
【職員紹介】						
大学卒業後、約9年間にわたり教育・研修、採用、事務などの業務に携わり、その後は本部受付として接遇力と迅速な対応力を磨きました。2017年に日本語講師資格を取得して以降は、日本語科目のほか、ビジネスマナーやプロジェクト型学習など多様な授業を担当し、実践的なコミュニケーション指導に取り組んでいます。近年は企業で特定技能生の日本語力強化を担当し、現場で求められる指導経験を積みました。4月からは日本語教師養成講座の講師も務め、教育者としての専門性をさらに深めています。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	通訳翻訳基礎(Bクラス)	小高ひとみ/小高功二	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
ホスピタリティの基本概念を理解し、接客場面で必要となる日本語表現と対応スキルを習得する。 飲食・販売・宿泊などの実践的な場面において、適切な敬語とコミュニケーションを用いた接客ができる力を養う。						
【講義概要】						
本講義では、接客現場で求められる日本語表現とホスピタリティの考え方を学ぶ。 ロールプレイやケーススタディを通して、実践的な対応力とコミュニケーション能力の向上を目指す。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 ホスピタリティとは 2 いらっしゃいませ等 3 クッション言葉 4 来店～退店 5 席案内 6 注文対応 7 提供・会計 8 声かけ 9 商品説明 10 クレーム対応 11 レジ対応 12 チェックイン 13 案内対応 14 電話マナー 15 緊急・クレーム 16 期末試験 17 まとめ	1 異文化対応 2 高度敬語 3 クレーム応用 4 提案接客 5 宿泊応用 6 販売応用 7 電話応用 8 チーム接客 9 問題解決 10 ケーススタディ 11 応用ロープレ 12 実践演習 13 評価準備 14 総合演習 15 試験 16 期末試験 17 まとめ				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	2	0	0	6	2	
講義全体を100点満点として採点する。テスト20点、授業態度60点、出席率20点から成績評価を行う。 <重視項目>1: 授業中での態度(積極性、集中力、考える力) 2: 実技は授業態度に含む						
【授業の特徴・形式】						
本授業は講義と演習を組み合わせ、ロールプレイを中心に進める実践型の授業である。 飲食・販売・宿泊などの具体的な接客場面を想定し、対話練習やケーススタディを通して実務に直結するスキルの習得を目指す。						
【教員紹介】						
小高功二: ホスピタリティとは人と人のコミュニケーションの潤滑材ということを理解してもらいます。うまく話すよりも気持ち伝わる会話、対応の向上を目指す講義です。35年の旅行会社勤務、通訳案内士としての経験(ガイド、翻訳)を踏まえ、人とのコミュニケーションを大切にできる人を育てるをモットーにしていますが、常にお客様に共感しないとそっぽを向かれるので、上辺だけでなく共感できる人を育てることが目標です。 小高ひとみ: ホスピタリティについて、客室乗務員や海外在住経験を活かして多角的な視点で指導いたします。双方向のコミュニケーションを大切に授業で、「気付き」を感じて頂ける楽しい時間を創出します。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
講義	一般教養 政治・経済	玉井千鶴	4単位/80時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職に役立つ一般教養としての日本の政治・経済の知識を習得する
- ②国の政治(ルール) 経済(お金)はどうなっているのか?を学ぶ
- ③就職先になるであろう中小企業の役割 研究

【講義概要】

- ①日本の民主主義から始まり行政サービスや保険について解説
- ②日本の財政と借金 市場経済のしくみ、ニュースの観方を研究
- ③自分達が就職するであろう業界(ホテル、物流、管理、空港)の研究から企業がどんな人材を求めているかを考える

回 授業計画及び学習の内容

前期	後期
1 オリエンテーション	1 業界研究の進め方
2 日本の憲法と民主主義	2 ホテル・観光業
3 日本の行政と税金	3 貿易・物流
4 日本の地方自治	4 人材・派遣業界
5 日本経済の歩み	5 携帯販売・家電量販
6 市場経済の仕組み	6 不動産業(1)
7 物価とインフレ	7 不動産業(2)
8 日本の労働市場	8 空港業界
9 財政と国の借金	9 中小企業の魅力
10 日本の銀行と金融	10 業界比較ワークショップ
11 会社の種類	11 労働法と権利
12 世界の中の日本経済 外交	12 ビジネス現場のDX
13 現代の格差社会	13 企業分析の実践
14 現代社会の課題	14 先輩留学生の事例紹介
15 現代社会の課題2	15 ビジネスマナーと敬語
16 期末試験	16 期末試験
17 期末試験FB 前期のまとめ	17 就職後のキャリアアップについて

【成績評価方法】

	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
採点割合 (計10)	5	0	0	2	3	

講義全体を100点満点として採点する。テスト50点、授業態度20点、出席率30点から成績評価を行う。
前期・後期のテストによる理解度、授業での発言、授業態度を総合的に判断

【授業の特徴・形式】

留学生が日本社会を深く理解し、将来の日本での就職活動において、自身の考えを論理的かつ説得力を持って発信できる能力を養うことを目的とする。日本の政治・経済の基本構造を学ぶだけでなく、現在進行形のニュースを毎時取り上げる。これにより、教科書上の知識と現実の社会情勢を紐付け、生きた教養を身につける企業の採用面接で問われる「社会への関心」や「論理的思考力」を重視する。単なる知識の暗記に留まらず、自身の意見を日本語で言語化するトレーニングを反復する。

【教員紹介】

商社およびメーカーにて、長年にわたり貿易管理、ロジスティクス・SCM、海外営業に従事。南米、ヨーロッパ、アジア諸地域など、世界各国のビジネス現場に深く関わってまいりました。教育現場においては、学習塾での指導に始まり、現在は留学生を対象とした貿易実務、英会話、ビジネスTODO・マナー、卒業研究(SDGsテーマ)、就職指導まで幅広く担当しています。また、登録支援機関での就労・生活支援経験も有しており、留学生の日本での学びとキャリアに寄り添った、実践的かつ安心感のある指導を行います。また、商社・メーカーでの貿易実務に長年携わった実績を踏まえ、グローバル経済の実務者の観点から講義を行う。

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	一般教養 地理・歴史	石間成子	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
日本の都道府県を言えるようにし、大まかな地理感覚を得て就職に役立てる。また、近現代の大まかな日本の歴史、特に産業の発展にポイントを当て、日本がどのようにして産業大国となったか、その理由は何かを深掘して就職に役立てるようにする。						
【講義概要】						
母国とのおおまかな比較、つながりを学ぶ。恵比寿周辺の地理歴史を学ぶ。近現代の日本史を学び、母国と比較する。テキストは使わず、講義とグループワークを主に行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	オリエンテーション／日本地図と都道府県／日本の時代区分	1 オリエンテーション／日本の都道府県と時代区分復習				
2	日本クイズ／母国との比較	2 日本クイズ②／母国との比較②				
3	日本の国土とインフラ①	3 災害の歴史と地理①講義				
4	日本の国土とインフラ②／東北地方(小テスト)	4 災害の歴史と地理②講義				
5	日本の国土とインフラ③／関東地方(小テスト)	5 災害の歴史と地理③グループワーク				
6	日本の国土とインフラ④／中部地方(小テスト)	6 災害の歴史と地理③グループワーク				
7	日本の国土とインフラ まとめ	7 災害の歴史と地理⑤グループワーク				
8	中間テスト	8 災害の歴史と地理⑥発表				
9	学校周辺の歴史と地理①講義／近畿地方(小テスト)	9 中間テスト				
10	学校周辺の歴史と地理②グループワーク／中国四国地方(小テスト)	10 アジア近代史①				
11	学校周辺の歴史と地理③グループワーク／九州地方(小テスト)	11 アジア近代史②				
12	学校周辺の歴史と地理④フィールドワーク	12 アジア近代史③				
13	学校周辺の歴史と地理⑤まとめ	13 アジア近代史④				
14	学校周辺の歴史と地理⑥発表	14 アジア近代史⑤				
15	学校周辺の歴史と地理⑦発表と振り返り	15 アジア近代史まとめ				
16	期末試験	16 期末試験				
17	試験フィードバック・復習	17 試験フィードバック・復習				
【成績評価方法】						
	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
採点割合	3	0	1	3	3	
講義全体を100点満点として採点する。テスト30点、提出物10点、授業態度30点、出席率30点から成績評価を行う。前期は日本全体の地形、都道府県を学びつつ、母国と日本の違いやかかわり、学校周辺の地理や歴史等を調べ、発表等を行う。後期は、防災の観点から歴史や地理を調べる。アジアの中で日本がどのように成長したかを知り、今後の就職に活かす。						
【授業の特徴・形式】						
基本的には講義形式で基礎的な知識や地理歴史独特の語彙を学び、グループワークなどでグループごとにテーマを分けて特化した調べ学習を行い、発表をする。試験は中間テストも行う。小テストは都道府県テストや語彙の確認をする。						
【教員紹介】						
講師は、教職免許状(地理歴史・社会)を持ち、学習塾での文系科目担当経験を持つ。日本語教師でもあり、留学生の指導は約6年ほど行っている。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	一般教養 英語(上位クラス)	山本 Sohia 慶子	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
英語の基礎となる各英文法の確認や使い方、読む・書く・聞く・話すの4技能と基礎力を強化する。						
【講義概要】						
各英文法を確認していきながら、ロールプレイやエクササイズを多用し、基礎力と4技能を高める。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	オリエンテーション UNIT1-3 7P 現在形	1 UNIT59-61 動詞+前置詞+ing/worth +ing				
2	UNIT4-6 9P 現在進行形・過去形	2 UNIT62-65 to+動詞原形/so that				
3	UNIT7-10 15P 現在完了形・現在完了進行形	3 UNIT66-69 可算名詞・不可算名詞				
4	UNIT11-14 How・When/For・since	4 UNIT70-76 the/固有名詞				
5	UNIT16-17 have/used to	5 UNIT77-80 名詞/所有格				
6	UNIT18-23 未来形	6 UNIT81-84 there/it some/any				
7	UNIT24-26 can/could/be able to	7 UNIT85-88 much/many/little/plenty				
8	UNIT28-30 may・might/have to ・must	8 UNIT89-92 関係副詞				
9	UNIT31-34 should /仮定法	9 UNIT93-96 ing句/ed句				
10	UNIT35-38 can/could/would you	10 UNIT97-99 形容詞/副詞				
11	UNIT39-42 受動態	11 UNIT100-102 so/such/enough/too				
12	UNIT43-46 間接話法	12 UNIT103-105 比較級/最上級				
13	UNIT47-50 疑問文・関係疑問文	13 UNIT106-107 語順				
14	UNIT51-54 動詞ing /to do	14 UNIT108-109 still/yet/already/even				
15	UNIT55-58 prefer/前置詞+ing	15 UNIT110-111 関係詞				
16	期末試験	16 期末試験				
17	テスト返し まとめ	17 テスト返し まとめ				
【成績評価方法】						
採点割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	6	1	1	1	1	
講義全体を100点満点として厳格に採点する。内訳は、定期試験(60点)、実技(10点)、提出物(10点)、授業への参加意欲・態度(10点)、出席率(10点)とする。						
【授業の特徴・形式】						
ケンブリッジ大学出版English grammar in use中級編を使用し、各英文法の確認や使い方、書く、読む、聞く、話すの4技能と基礎力を強化する。4技能を強化するため、講義をした後、ロールプレイやエクササイズを多用しながら、基礎力を高めていく。						
【職員紹介】						
国家資格キャリアコンサルタント、日本語教師、高等学校英語・商業教員資格保有。銀行、5つ星ホテル、航空会社や人事経験、大学のキャリア相談経験から、日本語と英語ともに就労に必要となる企業が多く、英語力強化を支援。日本社会や職場での円滑なコミュニケーションの重要性や言語を支援。骨董品・茶道着物など日本文化家業ある母が京都出身、年数回京都滞在。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	2年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	一般教養 英語(下位クラス)	天池紋菜	4単位/80時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>This course aims to strengthen students' fundamental English skills. While reviewing basic grammar and vocabulary, students will develop balanced proficiency in the four skills: listening, speaking, reading, and writing.</p>						
【講義概要】						
Main Textbooks: 1. Basic Grammar in Use 2. Basic Grammar in Use Workbook						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	9-Apr Introduction	1	1-Oct Review of the previous semester			
2	16-Apr Unit 1	2	8-Oct Unit 14			
3	23-Apr Unit 2	3	15-Oct Unit 15			
4	7-May Unit 3	4	22-Oct Unit 16			
5	14-May Unit 4	5	29-Oct Unit 17			
6	21-May Unit 5	6	5-Nov Unit 18			
7	28-May Unit 6	7	12-Nov Unit 19			
8	4-Jun Unit 7	8	19-Nov Unit 20			
9	11-Jun Unit 8	9	26-Nov Unit 21			
10	18-Jun Unit 9	10	3-Dec Unit 22			
11	25-Jun Unit 10	11	10-Dec Unit 23			
12	2-Jul Unit 11	12	17-Dec Unit 24			
13	9-Jul Unit 12	13	14-Jan Unit 25			
14	16-Jul Unit 13	14	21-Jan Unit 26			
15	23-Jul Comprehensive Review	15	28-Jan Comprehensive Review			
16	30-Jul Final Exam	16	4-Feb Final Exam			
17	6-Aug Final Exam Review and Semester Wrap-Up	17	11-Feb Final Exam Review and Semester Wrap-Up			
【成績評価方法】						
	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
採点割合	2	-	-	4	4	
Final Examination (20%) / Class Participation and Attitude (40%) / Attendance (40%)						
1. Final Examination (20%): A (≥90), B (≥80), C (≥70), D (≥50), F (<50 or academic misconduct) 2. Class Participation and Attitude (40%): Evaluated based on accuracy, activeness, and classroom behavior 3. Attendance (40%): Based on the school's attendance policy *Final grades are determined comprehensively based on the above criteria.						
【授業の特徴・形式】						
1. Strengthening grammar and vocabulary through workbook-based practice 2. Developing listening skills and expressions through movies and TV dramas 3. Improving reading comprehension using easy-to-understand texts						
【職員紹介】						
The instructor holds a TOEIC score of 980 and the EIKEN Grade 1 certification, with professional experience as both a translator and an English instructor. A self-proclaimed trilingual speaker of English, Japanese, and Kansai dialect, the instructor brings a friendly and approachable style to the classroom.						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
実習	コミュニケーションⅠ	瀬下夕香	2単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の真意を汲み取り、信頼関係を築くコミュニケーション能力を身につける。 ・異文化間におけるコミュニケーションにの違いを理解するとともに、言語・非言語の特性と重要性を理解する。 						
講義概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場や状況を察知し「言葉にならないニーズ」を汲み取りながら正しい言葉遣い、「伝わる心」を学ぶ。 						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション(授業目的・自己紹介) コミュニケーションとは何か 良いコミュニケーションと悪いコミュニケーション コミュニケーションに必要な力① コミュニケーションに必要な力②(傾聴力) コミュニケーションに必要な力③(相手の感情を理解) 非言語コミュニケーションとは(表情・態度・視線) 第一印象の重要性(視覚情報) 声・話し方・トーンの影響(笑声・親しみの持てるトーン) ロールプレイ・第一印象の大切さを実感する コミュニケーションに必要な力④(伝える力) 分かりやすく伝える伝え方・理解する力 クッション言葉・丁寧表現 ロールプレイ・言葉遣いと話し方 ロールプレイ・各自発表を通して前期に学んだことを振り返る。 期末試験 前期振り返り 	<ol style="list-style-type: none"> コミュニケーションの難しさや心がけていること 異文化コミュニケーションとは(自国の文化の共有とは発表) 文化の違いによるコミュニケーションの違い(ハイコンテキスト・ローコンテキスト) コミュニケーションに必要な力⑤(背景の理解) 言葉の持つ力 コミュニケーションに必要な力⑥(対応力) コミュニケーションに必要な力⑥(YESとNOの必要性) ロールプレイ・接客、トラブル対応 ロールプレイ・難しい対応力を通して 感情のコントロール 人の心に届くコミュニケーション 信頼関係を築く秘訣 コミュニケーションに必要な力⑦言葉を越えた力 ロールプレイ・各自総合実践 最終ロールプレイ・期待を超えた話し方 期末試験 後期振り返り 				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	2	3	0	3	2	
<p>講義全体を100点満点として採点する。テスト20点、実技30点、授業態度30点、出席率20点から成績評価を行う。本授業の成績は、筆記テスト、実技(ロールプレイ等)、授業態度及び出席状況を総合的に評価する。筆記テストでは、コミュニケーションに関する基礎知識や理解度を確認し、実技では実践的な対応力を評価する。授業態度においては、何事にも挑戦し、自らの成長に努力する姿勢を評価する。これらの評価基準に基づき、可能な限り各学生の長所を伸ばすことができるよう、評価を行う。</p>						
【授業の特徴・形式】						
<p>本授業では知識の習得にとどまらず、実践的なコミュニケーション能力の向上を目的とするため、自裁の場面を想定したロールプレイや各自の発表を通して信頼関係を築くコミュニケーションスキルを身につける。また、最終目的として、相手を理解すること、相手を大切にすることの重要性を理解し、「心」の成長につながる指導を目指す。</p>						
【教員紹介】						
<p>担当教員は、航空業界において地上職員および客室乗務員として長年にわたり勤務した豊富な実務経験を有しています。多様な文化や価値観を持つ顧客との接遇を通じて、言葉の持つ力や心の持ち様が信頼関係の構築に多大な影響を与えることを実地で学んできました。本授業では、これら航空業界における実務者の観点から、顧客との信頼関係を築くためのコミュニケーションの真髓や、現場で即戦力となる非言語スキルの重要性について、事例を交えた実践的な指導を行います。</p>						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	日本文化論	江上広太郎	4単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>本授業は、日本文化を単に知識として学ぶのではなく、自分かとの比較を通してその特徴を理解して文化を論理的に説明し、自分の意見を表現する力を養うことを目的とする。</p>						
【講義概要】						
<p>日本文化を多面的に捉え、その構造的理解を目指していく。また、比較文化的視点を持ち、論理的思考や表現力の向上も図っていく。</p>						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	オリエンテーション／都道府県について	1 オリエンテーション／前期の復習				
2	時間感覚	2 挨拶				
3	コミュニケーション①(空気を読む)	3 食文化				
4	コミュニケーション②(本音と建前)	4 自然観①(四季)				
5	敬語と上下関係①	5 自然観②(四季)				
6	敬語と上下関係②	6 道の文化				
7	労働観	7 後期のまとめ①				
8	前期のまとめ①	8 中間テスト				
9	中間テスト	9 禅の文化				
10	曖昧表現	10 美意識(わび・さび・もののあはれ)				
11	社会文化(和と集団主義)	11 昔の文学に触れよう①(能)				
12	宗教観①(神道・仏教・無信仰など)	12 昔の文学に触れよう②(歌舞伎)				
13	宗教観②(年中行事など)	13 昔の文学に触れよう③(古典文学)				
14	生活文化	14 昔の文学に触れよう④(俳句)				
15	前期のまとめ②	15 後期のまとめ②				
16	期末試験	16 期末試験				
17	試験フィードバック・復習	17 試験フィードバック・復習				
【成績評価方法】						
	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
採点割合	4	0	0	3	3	
<p>講義全体を100点満点として厳格に採点する。内訳は、中間テスト(15点)、期末テスト(25点)、授業態度(30点)、出席率(30点)とする。授業態度においては、単なる出席だけでなく、ワークへの積極的な発言や取り組む姿勢を数値化して評価に加味する。</p>						
【授業の特徴・形式】						
<p>講義形式を基本とするが、授業によっては映像を見て感想を述べてもらうことを求める。</p>						
【職員紹介】						
<p>大学受験の学習塾や予備校にて幅広い国語の指導を行っています。文学を通して学ぶことの楽しさを伝えています。また、留学生指導も行っています。</p>						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
演習	異文化コミュニケーション	岡田麻唯	4単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
現代のグローバル社会において、異文化に対する感受性と他者への共感性を高め、バランスの取れた異文化コミュニケーション能力を身につける。						
【講義概要】						
異文化コミュニケーションに関する諸問題を多面的に捉え、その解決のための方法について考える。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 授業の進め方・自己紹介 2 コミュニケーションとは何か 3 コミュニケーションと知覚 4 言葉とコミュニケーション 5 文化とは何か 6 自文化を考える 7 日本の文化を考える 8 非言語コミュニケーション① 9 非言語コミュニケーション② 10 非言語コミュニケーション③ 11 非言語コミュニケーション④ 12 アサーティブ・コミュニケーション① 13 アサーティブ・コミュニケーション② 14 カルチャーショックと異文化適応 15 試験に向けた復習 16 期末試験 17 まとめ	1 前期の復習 2 ステレオタイプと偏見① 3 ステレオタイプと偏見② 4 自己開示 5 コミュニケーション・スタイルの違い① 6 コミュニケーション・スタイルの違い② 7 コンフリクト・マネジメント 8 ケーススタディとDIEメソッド 9 異文化センシティビティモデル① 10 異文化センシティビティモデル② 11 自分の文化を紹介する① 12 自分の文化を紹介する② 13 自分の文化を紹介する③ 14 発表 15 試験に向けた復習 16 期末試験 17 まとめ				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	2	0	2	3	3	
授業態度を30%とし、授業の中で行うワークへの取り組みや協力的な態度を評価する。また、ワークシートの提出内容でどのくらいしっかりと取り組んだかを判断する。積極的な反応や発言・質問等は、授業態度に加味する。日本語のレベルに関係なく、取り組む努力が見られる態度を評価する。提出物の内容が優れている場合は、提出物の評価とする。						
【授業の特徴・形式】						
講義と個人ワーク、ペアワーク、グループワークを交えながら、授業を行う。クラスメートと協力したり、自分の意見を述べたり、主体的な参加態度が求められる。						
【職員紹介】						
社会教育団体で、11年間働き、スポーツ指導を通じた青少年育成事業に携わり、学生のボランティアリーダー育成にも従事。2015年から1年間、アメリカポートランド市のイマージョンスクール(小学校)にて、日本語での授業のアシスタントティーチャーとして実務を行う。現在は、専門学校と複数の大学にて異文化コミュニケーション・プレゼンテーション・国際協働学習・インタビュー法のクラスを担当している。また、日本と海外の小中高生をつなぐ大学生ファシリテーターの指導も行なっている。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	ビジネスマナー I	梅田美由記	4単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
日本の会社で働くのに必要な知識を得る。また、その知識から日本のマナーやビジネスにおける考え方を会得する。この1年時に学ぶ知識をもとに、2年生では応用につながるビジネス表現を学べるよう習得する。						
【講義概要】						
『できる社会人になる！基本のビジネスマナー』西東社の内容を参考に、日本の会社で働くのに必要な知識を得る。また、その知識から日本のマナーやビジネスにおける考え方を会得する。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 オリエンテーション/しっかりとあいさつ(暗唱)P34、8 2 敬語の復習① 3 敬語の復習② 4 敬語の復習③ 5 敬語の復習④ 6 身だしなみの基本 7 社内の人の呼び方① 8 社内の人の呼び方②(ロールプレイング) 9 上司との付き合い方① 10 上司との付き合い方② 11 ホウレンソウとは？① 12 ホウレンソウとは？② 13 出勤にかかわる連絡① 14 出勤にかかわる連絡②(ロールプレイング) 15 時間調整日 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習	1 オリエンテーション/伝言メモ 2 公共スペースのマナー 3 電話のかけ方、受け方、取り次ぎ方 4 電話のかけ方、受け方、取り次ぎ方 5 電話のかけ方、受け方、取り次ぎ方(ロールプレイング) 6 来客時の対応、案内① 7 来客時の対応、案内② 8 お茶の出し方① 9 お茶の出し方②(ロールプレイング) 10 名刺交換① 11 名刺交換②(ロールプレイング) 12 接待、席次、和食のマナー① 13 接待、席次、和食のマナー② 14 お酒の作法 15 時間調整日 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	2	3	0	3	2	
講義全体を100点満点として採点する。テスト20点、実技20点、授業態度30点、出席率20点から成績評価を行う。本授業では、定期試験の結果に加え、授業中の態度や取り組み方を重視して評価します。ビジネスマナーを学ぶ科目として、授業内ではビジネスパーソンとしてのふるまいを意識し、挨拶・姿勢・積極性・協働姿勢など、企業で求められる基本的なマナーを実践することを求めます。発言や実技に誤りがある場合でも、真剣に取り組む、前向きに学ぼうとする姿勢が見られる学生を高く評価します。						
【授業の特徴・形式】						
講義形式を基本としながら、その日の内容に応じてロールプレイングなどの実技、グループワーク、ディスカッションを取り入れ、状況に合わせて柔軟に授業スタイルを変化させます。ビジネスマナー科目として、実際の職場を想定したふるまいやコミュニケーションを重視し、実践的な活動を通して理解を深めます。さらに、1年次にはビジネスパーソンに求められる敬語を重点的に指導し、職場でも違和感のない言葉遣いができるよう体系的かつ実践的に学習します。						
【教員紹介】						
大学卒業後、約9年間にわたり教育・研修、採用、事務などの業務に携わり、その後は本部受付として接遇力と迅速な対応力を磨きました。2017年に日本語講師資格を取得して以降は、日本語科目のほか、ビジネスマナーやプロジェクト型学習など多様な授業を担当し、実践的なコミュニケーション指導に取り組んでいます。近年は企業で特定技能生の日本語力強化を担当し、現場で求められる指導経験を積みました。4月からは日本語教師養成講座の講師も務め、教育者としての専門性をさらに深めています。						

専門学校東京声優・国際アカデミ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
実習	パソコン実習 I	小林英恵	2単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
特定のソフトウェアの操作暗記にとどまらず、IT全体の仕組みを理解し、変化に対応できる「テクノロジーリテラシー」を習得する。また、ローマ字入力からビジネス文書、履歴書作成まで、卒業後の就職活動や日本のビジネス現場で即戦力となる実践的なPCスキルを会得する。						
【講義概要】						
日本の会社で働くために必須となるPCスキルとITの基本概念を習得する。毎回のタイピング練習による正確な入力から始まり、Wordでのビジネス文書作成、メールのマナー、Excelを活用したスケジュール表や履歴書の作成、PowerPointでのプレゼンテーションまでを実践的に学ぶ。また、クラウドとローカルの違いや情報セキュリティ等の考え方についても理解を深める。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 PC基礎操作とローマ字入力の基本 2 ローマ字入力の型（氏名・住所の正確な入力） 3 特殊文字（促音・撥音・長音）の入カドリル 4 自己紹介文の入力とファイル保存（自動/手動）の概念 5 ビジネス語彙の入力と正しい漢字変換 6 敬語文章のタイピングとWordの基本文字装飾 7 ショートカットキーの活用による作業効率化 8 Wordを活用したビジネス文書（お知らせ）作成 9 ビジネスメールの基本構造と署名（シグネチャ）設定 10 定型文を活用した欠席・遅刻連絡メールの作成 11 ファイル添付の操作とCC・BCCの使い分け 12 ビジネスメールの引用返信と日程調整 13 Excelの基本操作（行・列・セル）の理解 14 セルの書式設定と見やすい表作成（時間割作成） 15 四則演算と関数（SUM）を使った自動計算の基礎 16 期末試験 17 総まとめ	1 Excelを活用した履歴書作成① 2 Excelを活用した履歴書作成② 3 ファイル形式の理解と履歴書のPDF書き出し 4 PowerPointの基本操作とスライド構成 5 図形・画像を配置した視覚的なスライド作成 6 効果的なアニメーションと画面切り替えの設定 7 チーム発表に向けたプレゼンテーションの「型」 8 スライドショーの実行とプレゼン発表練習 9 クラウド型デザインツールの体験とUI比較 10 クラウドツールを活用した複数人での共同編集体験 11 生成AIの基本操作と効果的なプロンプト（指示）入力 12 ビジュアルプログラミング基礎①（順次処理） 13 ビジュアルプログラミング基礎②（反復と条件分岐） 14 ノーコードツールを活用したWebサイト作成 15 Webサイトの公開と1年間の学習成果の振り返り 16 期末試験 17 総まとめ				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	2	2	2	2	2	
定期試験20%、実技(タイピングの成長度やPC操作の正確性)20%、提出物(授業内で作成するデータ等)20%、授業態度20%、出席率20%の割合で総合的に評価する。実技や提出物において、操作の正確さが伴わなくても、意欲的に取り組み、他者と教え合う姿勢を見せた者は授業態度として加味し、評価する。						
【授業の特徴・形式】						
PC操作を伴う実習形式を基本とする。単なる講義ではなく、「欠席連絡のメールを送る」「履歴書を作る」といったタスクベースのワークを行い、実践力を養う。また、ペアワークでの教え合いを推奨するほか、IT用語やローマ字入力のルール定着のため、タイピングソフトやドリルを用いた反復練習にも力を入れる。						
【教員紹介】						
講師はデパート社員、小学校教員を経験後、2020年にEdTechデザイナーとして独立。2024年より日本語講師となり、日本語学校や専門学校で教鞭をとっている。日本語に加え、自身の経験を活かしてビジネス科目や日本の地理・文化科目も担当している。ITスキル、ビジネス実務、教育の3つの経験を融合させた実践的な指導を行う。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
演習	英語 I (上位クラス)	山本 Sohia 慶子	4単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
英語の基礎となる各英文法の確認や使い方、読む・書く・聞く・話すの4技能と基礎力を強化する。						
【講義概要】						
各英文法を確認していきながら、ロールプレイやエクササイズを多用し、基礎力と4技能を高める。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	オリエンテーション UNIT1-3 現在形	1 UNIT59-61 動詞+前置詞+ing/worth +ing				
2	UNIT4-6 現在進行形・過去形	2 UNIT62-65 to+動詞原形/so that				
3	UNIT7-10 現在完了形・現在完了進行形	3 UNIT66-69 可算名詞・不可算名詞				
4	UNIT11-14 How・When/For・since	4 UNIT70-76 the/固有名詞				
5	UNIT16-17 have/used to	5 UNIT77-80 名詞/ 所有格				
6	UNIT18-23 未来形	6 UNIT81-84 there/it some/any				
7	UNIT24-26 can/could/be able to	7 UNIT85-88 much/many/little/plenty				
8	UNIT28-30 may・might/have to ・must	8 UNIT89-92 関係副詞				
9	UNIT31-34 should /仮定法	9 UNIT93-96 ing句/ed句				
10	UNIT35-38 can/could/would you	10 UNIT97-99 形容詞/副詞				
11	UNIT39-42 受動態	11 UNIT100-102 so/such/enough/too				
12	UNIT43-46 間接話法	12 UNIT103-105 比較級/最上級				
13	UNIT47-50 疑問文・関節疑問文	13 UNIT106-107 語順				
14	UNIT51-54 動詞ing /to do	14 UNIT108-109 still/yet/already/even				
15	UNIT55-58 prefer/前置詞+ing	15 UNIT110-111 関係詞				
16	期末試験	16 期末試験				
17	テスト返し まとめ	17 テスト返し まとめ				
【成績評価方法】						
採点割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	6	1	1	1	1	
講義全体を100点満点として厳格に採点する。内訳は、定期試験(60点)、実技(10点)、提出物(10点)、授業への参加意欲・態度(10点)、出席率(10点)とする。						
【授業の特徴・形式】						
ケンブリッジ大学出版English grammar in use中級編を使用し、各英文法の確認や使い方、書く、読む、聞く、話すの4技能と基礎力を強化する。4技能を強化するため、講義をした後、ロールプレイやエクササイズを多用しながら、基礎力を高めていく。						
【教員紹介】						
国家資格キャリアコンサルタント、日本語教師、高等学校英語・商業教員資格保有。銀行、5つ星ホテル、航空会社や人事経験、大学のキャリア相談経験から、日本語と英語ともに就労に必要となる企業が多く、英語力強化を支援。日本社会や職場での円滑なコミュニケーションの重要性や言語を支援。骨董品・茶道着物など日本文化家業ある母が京都出身、年数回京都滞在。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
演習	英語 I (下位クラス)	天池紋菜	4単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>This course aims to strengthen students' fundamental English skills. While reviewing basic grammar and vocabulary, students will develop balanced proficiency in the four skills: listening, speaking, reading, and writing.</p>						
【講義概要】						
Main Textbooks: 1. Basic Grammar in Use 2. Basic Grammar in Use Workbook						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	9-Apr Introduction	1	1-Oct Review of the previous semester			
2	16-Apr Unit 1	2	8-Oct Unit 14			
3	23-Apr Unit 2	3	15-Oct Unit 15			
4	7-May Unit 3	4	22-Oct Unit 16			
5	14-May Unit 4	5	29-Oct Unit 17			
6	21-May Unit 5	6	5-Nov Unit 18			
7	28-May Unit 6	7	12-Nov Unit 19			
8	4-Jun Unit 7	8	19-Nov Unit 20			
9	11-Jun Unit 8	9	26-Nov Unit 21			
10	18-Jun Unit 9	10	3-Dec Unit 22			
11	25-Jun Unit 10	11	10-Dec Unit 23			
12	2-Jul Unit 11	12	17-Dec Unit 24			
13	9-Jul Unit 12	13	14-Jan Unit 25			
14	16-Jul Unit 13	14	21-Jan Unit 26			
15	23-Jul Comprehensive Review	15	28-Jan Comprehensive Review			
16	30-Jul Final Exam	16	4-Feb Final Exam			
17	6-Aug Final Exam Review and Semester Wrap-Up	17	11-Feb Final Exam Review and Semester Wrap-Up			
【成績評価方法】						
	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
採点割合	2	-	-	4	4	
Final Examination (20%) / Class Participation and Attitude (40%) / Attendance (40%)						
1. Final Examination (20%): A (≥90), B (≥80), C (≥70), D (≥50), F (<50 or academic misconduct) 2. Class Participation and Attitude (40%): Evaluated based on accuracy, activeness, and classroom behavior 3. Attendance (40%): Based on the school's attendance policy *Final grades are determined comprehensively based on the above criteria.						
【授業の特徴・形式】						
1. Strengthening grammar and vocabulary through workbook-based practice 2. Developing listening skills and expressions through movies and TV dramas 3. Improving reading comprehension using easy-to-understand texts						
【教員紹介】						
The instructor holds a TOEIC score of 980 and the EIKEN Grade 1 certification, with professional experience as both a translator and an English instructor. A self-proclaimed trilingual speaker of English, Japanese, and Kansai dialect, the instructor brings a friendly and approachable style to the classroom.						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
演習	英語Ⅱ	仁井田 拓	4単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
国際取引上必須の基礎英単語をはじめ、交渉と折衝時に必要な会話、E-mailの書き方をロールプレイングを取り入れ、実際に国際取引で使用される書類をしながら、実務開始に向け実践的な学習を行う。						
【講義概要】						
商売上英語を使用する頻度が益々多くなる現代社会に対応するため、授業では、自己紹介、会社紹介、電話対応、ビジネスメール作成、来客対応、会議およびプレゼンテーションなど、実務で頻出する会話、E-mail、書類の書き方などを中心に学習する。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 仕事と職業 2 働き方 3 給与と福利厚生 4 企業とキャリア 5 職場の問題 6 組織 7 製造業とサービス業 8 開発プロセス 9 革新と発明 10 マーケティング 11 製品とブランド 12 価格 13 流通(販売場所) 14 販売促進 15 時間調整日 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習	1 売上とコスト 2 会計 3 財務 4 ビジネス倫理 5 ビジネス文化 6 ビジネスE-mail 7 英文履歴書 1 8 英文履歴書 2 9 会議とプレゼンテーション 1 10 会議とプレゼンテーション 2 11 交渉 1 12 交渉 2 13 ビジネス文書 1 14 ビジネス文書 2 15 時間調整日 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	3	2	0	2	3	
講義全体を100点満点として採点する。テスト30点、実技20点、授業態度20点、出席率30点から成績評価を行う。出席率が最重要。小テストがほぼ毎時間行われる。小テストは前回のクラスで履修した内容が出題され、期末試験の問題は全て小テストから出題される。						
【授業の特徴・形式】						
学生の英語レベルが中学生以上であることを想定し、国外の人々と商売をするための実践的、総合的、現代で使用される英語を身に着けるため、実技(ロールプレイング)、グループワーク、ディスカッションを含めた授業。						
【教員紹介】						
卒業後、米国に24年間に在り、大学および大学院にて経営学を専攻。現地企業に勤務し、実践的なビジネス経験を積む。その後、帰国後は日本の商社において企業実務に従事し、日米双方のビジネス環境に精通している。これら米国および日本で培った豊富な実務経験を活かし、本授業では実際のビジネス現場で求められる英語表現、異文化理解、交渉・プレゼンテーション能力を重視した実践的なビジネス英語教育を展開する。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	キャリアデザイン	石間成子／川仁聡一郎	4単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
日本で就職できるため、必要な知識や振る舞いを学ぶ						
【講義概要】						
就職に必要な知識として、ビザの種類、自己PRの書き方、履歴書とは、面接対策等、基礎的な部分を学ぶ必要に応じて外部業者を招き、就職に関するセミナーを入れる可能性もある						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 オリエンテーション／学則など補足 2 自己紹介とふるまい・アルバイトと就職の違い 3 就活で使う日本語 4 ビザの種類(技人国と特定技能) 5 就活の流れ 6 どんな就職先があるか(職種) 7 自分の長所を考える 8 自分の歴史を振り返る 9 自分の未来を考える 10 自己分析① 11 自己分析② 12 自己紹介・自己分析発表(テスト) 13 資格について 14 はたらきまわり(雇用契約・同意・就業規則)① 15 はたらきまわり(雇用契約・同意・就業規則)② 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習	1 オリエンテーション／就活で使う語彙復習 2 就活の流れ・職種復習 3 求人票の見方① 4 求人票の見方② 5 求人票の見方③(発表) 6 志望動機を考える 7 面接における入退室① 8 面接における入退室② 9 面接における入退室(テスト) 10 履歴書について① 11 履歴書について② 12 履歴書について③ 13 はたらきまわり(入管法・労働法)③ 14 はたらきまわり(入管法・労働法)④ 15 時間調整・これまでの復習 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	2	2	2	2	2	発表は「実技」とする
講義全体を100点満点として採点する。テスト20点、授業態度20点、提出物20点、実技20点、出席率20点から成績評価を行う。 期末試験のペーパーテストに加え、自己PRの発表 や面接入退室の立ち居振る舞いを実技テストとする。出席率は2割とするが、あまりにも欠席が多い学生は授業態度のマイナスにもカウントする場合あり。						
【授業の特徴・形式】						
基本的には講義形式とし、トピックによってはグループワーク、作文、発表等を行う。						
【教員紹介】						
講師は、教職免許状(地理歴史・社会)を持ち、学習塾での文系科目担当経験を持つ。日本語教師でもあり、留学生の指導は約6年ほど行っている。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・半年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
演習	TOEIC	天池紋菜	2単位30時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>Students will aim to achieve a TOEIC score of 600 or higher. They will develop the ability to understand and respond to TOEIC Listening and Reading questions accurately. The course emphasizes not only score improvement but also the ability to logically explain answers and apply English in practical situations.</p>						
【講義概要】						
<p>Main Textbooks: 1. Official TOEIC Listening & Reading Training 2: Listening 2. Official TOEIC Listening & Reading Training 2: Reading</p>						
回	授業計画及び学習の内容					
前期						
1	9-Apr Introduction					
2	16-Apr Listening: Section 5					
3	23-Apr Reading: Section 5					
4	7-May Listening: Section 6					
5	14-May Reading: Section 6					
6	21-May Listening: Section 7					
7	28-May Reading: Section 7					
8	4-Jun Listening: Section 8					
9	11-Jun Reading: Section 8					
10	18-Jun Listening: Section 9					
11	25-Jun Reading: Section 9					
12	2-Jul Listening: Section 10					
13	9-Jul Reading: Section 10					
14	16-Jul Comprehensive Review: Listening					
15	23-Jul Comprehensive Review: Reading					
16	30-Jul Final Exam					
17	6-Aug Final Exam Review and Semester Wrap-Up					
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	2	-	-	4	4	
<p>Final Examination (20%) / Class Participation and Attitude (40%) / Attendance (40%) 1. Final Examination (20%): A (≥90), B (≥80), C (≥70), D (≥50), F (<50 or academic misconduct) 2. Class Participation and Attitude (40%): Evaluated based on accuracy, activeness, and classroom behavior 3. Attendance (40%): Based on the school's attendance policy *Final grades are determined comprehensively based on the above criteria.</p>						
【授業の特徴・形式】						
<p>1. Practice-based lessons using TOEIC-style questions 2. Explanation of typical TOEIC situations and contexts 3. Training students to logically explain why they chose each answer in both English and Japanese</p>						
【教員紹介】						
<p>The instructor holds a TOEIC score of 980 and the EIKEN Grade 1 certification, with professional experience as both a translator and an English instructor. A self-proclaimed trilingual speaker of English, Japanese, and Kansai dialect, the instructor brings a friendly and approachable style to the classroom.</p>						

専門学校東京声優・国際アカデミ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
演習	検定対策 I	渡邊美穂	4単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
日本語の4技能(聞く・話す・読む・書く)を総合的に向上させ、日本語能力試験への合格を目指す。						
【講義概要】						
日常生活やビジネスシーン等、様々な場面で使用される日本語を取り上げ、文字語彙を中心に学んでいく。あわせて、日本語能力試験の問題構成「言語知識(文字語彙)」に準じたテスト形式問題に触れながら、出題傾向やポイントの解説を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	N3レベル・文字語彙 1 小テスト	1	N3レベル・文字語彙 15 小テスト			
2	N3レベル・文字語彙 2	2	N3レベル・文字語彙 16			
3	N3レベル・文字語彙 3	3	N3レベル・文字語彙 17			
4	N3レベル・文字語彙 4	4	N3レベル・文字語彙 18			
5	N3レベル・文字語彙 5	5	N2レベル・文字語彙 1			
6	N3レベル・文字語彙 6	6	N2レベル・文字語彙 2			
7	N3レベル・文字語彙 7	7	N2レベル・文字語彙 3			
8	N3レベル・文字語彙 8	8	N2レベル・文字語彙 4			
9	N3レベル・文字語彙 9	9	検定試験直前対策			
10	N3レベル・文字語彙 10	10	N2レベル・文字語彙 5			
11	N3レベル・文字語彙 11	11	N2レベル・文字語彙 6			
12	N3レベル・文字語彙 12	12	N2レベル・文字語彙 7			
13	N3レベル・文字語彙 13	13	N2レベル・文字語彙 8			
14	N3レベル・文字語彙 14	14	N2レベル・文字語彙 9			
15	期末試験直前対策	15	期末試験直前対策			
16	期末試験	16	期末試験			
17	期末試験フィードバック	17	期末試験フィードバック			
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	7	0	0	1	2	
講義全体を100点満点として採点する。内訳は、期末試験70点、出席率20点、授業態度10点とし、その合計点に基づき厳格に成績評価を行う。このスコア化により、成績順位の低位4分の1を客観的に判別する基準とする。						
【授業の特徴・形式】						
検定試験対策は「読む」「聞く」が中心とはなるが、本授業では「書く」及び「話す」機会も多く設けることで、日本語の産出能力向上も目指していく。						
【職員紹介】						
グローバル企業で長くビジネスに従事し、チームマネジメント経験が豊富である。海外赴任し現地スタッフを育成した経験も有する。日本語教育能力検定試験資格保持者。これらの実務経験や資格を活かし、授業を展開していく。						

専門学校東京声優・国際アカデミ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
演習	検定対策Ⅱ	阿部りら	4単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
日本語の聴解・読解力を向上させ、日本語能力試験への合格を目指す。						
【講義概要】						
JLPTの聴解・読解分野について、試験形式に即した実践的な問題演習を行う。聴解では、会話や説明の内容を正確に聞き取り、必要な情報を整理して答えを導く力を養う。読解では、文章の構造や設問の意図、選択肢の内容を確認しながら、根拠をもって解答する力を高める。問題演習、模擬試験、解答確認、誤答分析、フィードバックを通して、JLPT合格に必要な聴解力・読解力の向上を目指す。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 オリエンテーション 2 課題理解 3 概要理解・発話表現 /対比 4 即時応答・間違いやすい音/助詞 5 似ている数字・音の変化/言い換え 6 音の高さや長さ・発話表現/ 遅刻する 7 状況説明文・許可依頼/比喻 8 注意すべき動詞・問題を知らせる/長文 9 あいさつ表現・即時応答/疑問提示文 10 検定テスト対策1 11 検定テスト対策2 12 検定テスト対策3 13 敬語/特別な形/知らない言葉を推測・予測 14 間違いやすい表現・会話表現/主張表現 15 間接的な答え方/指示語 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習	1 オリエンテーション 2 すべきことを考える/文章の構造 3 最初にすることを考える/問いを解く技術 4 選択肢と同じ言葉/メールなど 5 肯定系か否定的か/「だれが」「何が」「何を」 6 追加情報/メモなど 7 検定テスト対策1 8 検定テスト対策2 9 検定テスト対策3 10 問題をつかむ全体/下線分の意味 11 前置きの表現/意見文など 12 話のパターン/理由を問う 13 模擬試験/商品の広告など 14 模擬試験/お知らせ 15 模擬試験/期末試験の説明 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習				
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	5	0	0	3	2	なし
主に定期試験を50%とするが、これはJLPT(7月・12月)前の中間試験の結果と学期末の試験を意味する。また、「生活に関する漢字」の小テストも毎回行う。これは提出物として加味する。授業態度として授業への取り組みも見る。発言は授業態度に加味する。発言や実技に正確さが伴わなくても、きちんと取り組んだ者は評価する。						
【授業の特徴・形式】						
毎回の授業では、漢字テストにより語彙・漢字の定着を確認したうえで、JLPTの出題形式に即した聴解・読解問題の演習を行う。演習後は、解答の確認だけでなく、設問の意図、本文中の根拠、選択肢の違い、聞き取り・読み取りのポイントについて解説する。また、誤答の原因を振り返り、弱点を把握しながら、反復練習を通して試験本番に対応できる力を養う。						
【教員紹介】						
不動産、自動車等の一般企業、病院の相談員などをした後、専門学校で旅行教科や日本語を教える講師として働いておりました。講師歴は7年ほどですが、また日本語講師の大学副専攻の資格、旅行業務取扱管理者などを持っております。						

専門学校東京声優・国際アカデミ

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
実習	検定対策Ⅲ	渡邊美穂	2単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
日本語の4技能(聞く・話す・読む・書く)を総合的に向上させ、日本語能力試験への合格を目指す。						
【講義概要】						
日常生活やビジネスシーン等、様々な場面で使用される日本語を取り上げ、文法を中心に学んでいく。あわせて、日本語能力試験の問題構成「言語知識(文法)」に準じたテスト形式問題に触れながら、出題傾向やポイントの解説を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	N3レベル・文法 1 小テスト	1	N3レベル・文法 15 小テスト			
2	N3レベル・文法 2	2	N3レベル・文法 16			
3	N3レベル・文法 3	3	N3レベル・文法 17			
4	N3レベル・文法 4	4	N3レベル・文法 18			
5	N3レベル・文法 5	5	N2レベル・文法 1			
6	N3レベル・文法 6	6	N2レベル・文法 2			
7	N3レベル・文法 7	7	N2レベル・文法 3			
8	N3レベル・文法 8	8	N2レベル・文法 4			
9	N3レベル・文法 9	9	N2レベル・文法 5			
10	N3レベル・文法 10	10	検定試験直前対策			
11	N3レベル・文法 11	11	N2レベル・文法 6			
12	N3レベル・文法 12	12	N2レベル・文法 7			
13	N3レベル・文法 13	13	N2レベル・文法 8			
14	N3レベル・文法 14	14	N2レベル・文法 9			
15	期末試験直前対策	15	期末試験直前対策			
16	期末試験	16	期末試験			
17	期末試験フィードバック	17	期末試験フィードバック			
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	7	0	0	1	2	
講義全体を100点満点として採点する。内訳は、期末試験70点、出席率20点、授業態度10点とし、その合計点に基づき厳格に成績評価を行う。このスコア化により、成績順位の低位4分の1を客観的に判別する基準とする。						
【授業の特徴・形式】						
検定試験対策は「読む」「聞く」が中心とはなるが、本授業では「書く」及び「話す」機会も多く設けることで、日本語の産出能力向上も目指していく。						
【職員紹介】						
グローバル企業で長くビジネスに従事し、チームマネジメント経験が豊富である。海外赴任し現地スタッフを育成した経験も有する。日本語教育能力検定試験資格保持者。これらの実務経験や資格を活かし、授業を展開していく。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・半期			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	マーケティング基礎	吉田和正	2単位30時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>本授業では、マーケティングの基礎的な考え方を理解し、商品やサービスが「売れる仕組み」について説明できるようになることを目標とする。ターゲット設定、顧客価値、3C分析、4Pなどの基本的な視点を学び、身近な商品・広告・SNSの事例を通して、企業がどのように消費者へ価値を伝えているのかを考える。</p>						
【講義概要】						
<p>マーケティングとは、単に商品を「売る」ことではなく、顧客のニーズを理解し、商品やサービスの価値が適切に伝わり、選ばれる仕組みをつくる活動である。本授業では、マーケティングの基本概念を学ぶとともに、ターゲット、顧客価値、3C分析、4Pなどの基礎的なフレームワークを確認する。</p>						
回	授業計画及び学習の内容					
後期						
1	マーケティングとは					
2	ターゲットと利点					
3	3Cとは					
4	プレゼンテーション					
5	4pとは					
6	まとめ					
7	日本企業の成功事例					
8	日本企業の成功事例					
9	日本企業の成功事例					
10	プレゼンテーション					
11	海外企業の成功事例					
12	海外企業の成功事例					
13	海外企業の成功事例					
14	海外企業の成功事例					
15	期末テスト対策					
16	期末試験					
17	まとめ					
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	3	2	0	2	3	なし
<p>主に定期試験を30%とし、授業態度として授業への取り組みを見る。発言は授業態度に加味する。トピックによっては実技(ロールプレイング等)があるので、これらへの取り組みも評価する。発言や実技に正確さが伴わなくても、きちんと取り組んだ者は評価する。</p>						
【授業の特徴・形式】						
<p>講義形式を基本とするが、トピックによっては実技(ロールプレイング)、グループワーク、ディスカッションなどを行うテストはすべてプレゼンテーションで行います。</p>						
【教員紹介】						
<p>ロンドン大学卒業後大手自動車メーカーに国際本部に所属し欧州駐在8年、外資系企業日本支社の責任者として働き、日系人材会社にて東南アジアで会社設立したあと、日本にて英語講師や国際教養やビジネスや観光関連講師として母校で働いています。日本と海外の大学指導も行っております。</p>						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・半期			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	グローバル政治経済	吉田和正	2単位30時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>本授業では、日本における政治・経済の基本的な仕組みを理解し、社会の動きや日常生活との関わりについて考えられるようになることを目標とする。政治、行政、税金、物価、金融、労働、企業活動、貿易などの基礎的な用語や制度を学び、日本で生活し働くうえで必要となる社会理解を深める。</p>						
【講義概要】						
<p>本授業では、日本の政治・経済の基本的な仕組みを学ぶとともに、世界とのつながりの中で日本社会を理解する視点を身につける。政治、行政、税金、物価、金融、労働、企業活動、貿易などの基礎的な内容を、生活に身近な事例やニュースと結びつけて扱う。日本国内の制度や経済活動が、国際社会やグローバル経済とどのように関係しているのかを考えながら、社会の動きを理解する力を養う。</p>						
回	授業計画及び学習の内容					
前期						
<ol style="list-style-type: none"> 1 日本政治のしくみ 2 日本政治のしくみ 3 日本の行政のしくみ 4 日本の税金のしくみ 5 プレゼンテーション 6 現代社会のしくみ 7 物価 8 労働について 9 環境について 10 グローバル化する国際社会問題 11 グローバル経済 12 グローバル政治 13 日本のグローバル遅れ 14 プレゼンテーション 15 TEST対策 16 期末試験 プレゼンテーション 17 まとめ 						
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	3	2	0	2	3	なし
<p>主に定期試験を30%とし、授業態度として授業への取り組みを見る。発言は授業態度に加味する。トピックによっては実技(ロールプレイング等)があるので、これらへの取り組みも評価する。発言や実技に正確さが伴わなくても、きちんと取り組んだ者は評価する。</p>						
【授業の特徴・形式】						
<p>講義形式を基本とするが、トピックによっては実技(ロールプレイング)、グループワーク、ディスカッションなどを行うテストはすべてプレゼンテーションで行います。</p>						
【教員紹介】						
<p>ロンドン大学卒業後大手自動車メーカーに国際本部に所属し欧州駐在8年、外資系企業日本支社の責任者として働き、日系人材会社にて東南アジアで会社設立したあと、日本にて英語講師や国際教養やビジネスや観光関連講師として数校で働いています。日本と海外の大学指導も行っております</p>						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
演習	通訳翻訳基礎	高橋 俊介	4単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
日本語をより深く理解し、別の人に自分のことばで正しく伝える						
【講義概要】						
日本で生活して3年目の留学生たちは、おおよその生活のルールなどを経験している。生活に関する、日本で必要な知識や内容を、「じぶんのことばで」他者に伝えられるようにする。特に、通訳翻訳の仕事等に向けて、マニュアルの日本語を新人の外国人に分かりやすく伝える立場となるため、翻訳機能に頼らずに言い換え、易しく言う、母国語で言う、分かりやすく言えるようトレーニングする。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 オリエンテーション／日本語言い換えチャレンジ 2 身近にある日本語の言い換え、やさしい日本語 3 道案内(外や屋内、、、色々な場面で) 4 道案内《ロールプレイングまたはワーク》 5 住民としてのマナー(日常生活における○ △ ×) 6 住民としてのマナー《ロールプレイングまたはワーク》 7 職場の機械や備品をどう使う？ 8 職場の機械や備品《ロールプレイングまたはワーク》 9 病院に行こう 10 病院に行こう《ロールプレイングまたはワーク》 11 役所に行こう(色々な手続き) 12 役所に行こう《ロールプレイングまたはワーク》 13 安全に注意して働こう(危険なこと、ルールなど) 14 安全に注意して働こう《ロールプレイングまたはワーク》 15 期末試験直前のまとめとワーク 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習	1 オリエンテーション／夏休みの話をやさしい日本語で 2 困った時、緊急の場面(どんな言葉を教えるべき？) 3 困った時、緊急の場面 4 防災について考えよう(起きる前に教えるべきこと) 5 防災について考えよう 6 《ワーク》防災プランを考え、発表しよう 7 引っ越しのあれこれ 8 引っ越しのあれこれ 9 お店や地域のサービスを利用するために 10 お店や地域のサービスを利用するために 11 《ワーク》外国人が住むならどこ？理由は？ 12 《総復習1》こんな場面、どう通訳する・言い換える？ 13 《総復習2》こんな場面、どう通訳する・言い換える？ 14 先生になってみよう(言葉の難しさをコントロール) 15 期末試験直前のまとめとワーク 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習				
【成績評価方法】						
	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
採点割合	3	2	0	2	3	なし
主に定期試験を30%とし、授業態度として授業への取り組みを見る。発言は授業態度に加味する。トピックによっては実技(ロールプレイング等)があるので、これらへの取り組みも評価する。発言や実技に正確さが伴わなくても、きちんと取り組んだ者は評価する。						
【授業の特徴・形式】						
「状況」に合わせて何かを説明する、聞く、相手に伝える、等ができるようにする。Web教材「つながるひろがる」や、各種日本語学習を参考に、実技(ロールプレイング)、グループワーク等を用いて習得する。						
【教員紹介】						
広告代理店や人材系企業等で営業職を経験。日本語教師の資格を取得後、日本語学校で教務兼事務職を経験。現在はフリーとして日本語講師のみならず、就職対策やキャリア教育、ビジネス系科目の講師など幅広く携わっている。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
実習	ホスピタリティI	小高功二/ひとみ	2単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
観光産業、外食産業において、ホスピタリティ対応を高め、国内のお客様のみならず、インバウンドで来日するお客様が各宿泊施設や、レストラン店舗を利用される際、お客様毎にあったサービス向上に貢献できるレベルになること、及び、日本の文化、歴史から培われた独特のおもてなしを習得する。						
【講義概要】						
年間を通して、簡単な挨拶から始め、状況や場所に応じたホスピタリティの意味とコミュニケーション踏まえた対応能の取得を目的とする。重要なことは、お客様に感謝の気持ちを忘れず、個人の感覚に捕らわれず、コミュニケーションを良くとれる能力向上を目指し、相手に寄り添った伝え方も含めた対応能力の向上、習得を目指す。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
1	自分はどういう人間か？各自発表	1	自分の葬式(どういう人に来てほしい？)			
2	列に並ぶことは当たり前か？	2	利他の心			
3	これって正しい？(人によって違う見方)	3	相手の立場になってみる(今までの講義を顧みて)			
4	理解し、そして理解される(リスペクト)	4	レストランでの言い方			
5	自分に対するホスピタリティできてますか？	5	ツアーバスで、一人だけ足が悪い杖の人(どうする？)			
6	神社はお願いするところではない。	6	道に落ちているゴミを拾いますか？			
7	アイコンタクト(人がみていないところでも、心のコンタクト)	7	なぜ日本にはお寺と神社が共存する？			
8	交通機関で老人が立っていたら席を必ず譲るか？	8	クラスのホスピタリティに当てはめてみよう2			
9	新幹線で大きな荷物を持って行けるか？	9	両親に感謝の言葉、手紙を書いてみよう			
10	日本語はホスピタリティに必要か？	10	今まで一番感動した事(各自)			
11	地球温暖化は正義か？	11	人以外にホスピタリティは可能か(環境など)			
12	ゴミの分別は必要か？	12	なぜ人はペットを飼うのか？			
13	北極の氷が解けたら海面が上昇する？	13	感謝の言葉は神様の言葉			
14	EV車、水素自動車は環境にやさしい？	14	人の話を聞いていますか？			
15	自分が考えるホスピタリティの発表	15	自分は社会に貢献できているか？			
16	期末試験	16	期末試験			
17	まとめ	17	まとめ			
【成績評価方法】						
評価割合 (計10)	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	2	0	0	6	2	提出物は要請しない。
講義全体を100点満点として厳格に採点する。内訳は、定期試験(20点)、授業への積極的な参加・態度(60点)、出席率(20点)とする。なお、課題等の提出物は要請しないが、その分、毎授業における意欲的な姿勢や発言、ワークへの取り組みを重視して評価する。						
【授業の特徴・形式】						
テクニックよりも相手に伝わるものが採点の基準とする。間違えても主体的にコミュニケーションをとる姿勢、態度で相手に“共感”できることが評価の対象とする。前期1回、後期は2回程ロールプレイングを実施で判断。						
【教員紹介】						
小高功二： ホスピタリティとは人と人のコミュニケーションの潤滑材ということを理解してもらいます。うまく話すよりも気持ちが伝わる会話、対応の向上を目指す講義です。35年の旅行会社勤務、通訳案内士としての経験(ガイド、翻訳)を踏まえ、人とのコミュニケーションを大切にできる人を育てるをモットーにしていますが、常にお客様に共感してないとそっぽを向かれるので、上辺だけでなく共感できる人を育てることが目標です。						
小高ひとみ： ホスピタリティについて、客室乗務員や海外在住経験を活かして多角的な視点で指導いたします。双方向のコミュニケーションを大切に授業で、「気付き」を感じて頂ける楽しい時間を創出します。						

専門学校東京声優・国際アカデミー

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
文化・教養専門課程	国際コミュニケーション学科	2026年度	1年・通年			
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数			
講義	経営戦略	高橋 俊介	4単位60時間			
【授業の到達目標及びテーマ】						
日本企業へ就職する前段階として、会社とはどんなものか理解が深まるよう知識を得る。 参考資料『会社のしくみ』『知識ゼロからの小さな会社の始め方』						
【講義概要】						
『会社のしくみ』を参考に、日本に一番多い株式会社の仕組み、組織の構造、簡単なお金の流れ、人事構造等を学ぶ。形式は講義形式とするが、知識の習得に偏ると学生に飽きがくるため、適宜グループワークやディスカッション、母国との比較等を行いながら学ぶ。						
回	授業計画及び学習の内容					
	前期	後期				
	1 オリエンテーション／会社とは、会社の種類(P14- 2 株式会社とは(P16-25 3 株式会社とは② 4 会社の機関(P26- 5 会社の機関② 6 それぞれの権利(P38- 7 それぞれの権利② 8 中間テスト・まとめ 9 経営理念(P48- 10 日本の経営(P52- 11 《ワーク》日本の有名じゃない会社を知り、発表① 12 《ワーク》日本の有名じゃない会社を知り、発表① 13 役員、取締役会、ラインとスタッフ、事業部の名前(P58- 14 事業部の名前 15 前期のまとめ 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習	1 オリエンテーション／身近な中小企業を知ろう 2 会社の中の基本的な仕事(P82- 3 会社の中の基本的な仕事② 4 雇用形態、入社、退社、定年(P106- 5 労働基準法など(P110- 6 労働基準法など② 7 給与のしくみ(P112- 8 給与明細や求人を見てみよう 9 中間テスト・まとめ 10 福利厚生(P118- と、社会保険制度(P130- 11 福利厚生と社会保険制度② 12 残業、有給休暇、退職金等(P120- 13 《ワーク》ビジネスを作って、出資してもらおう① 14 《ワーク》ビジネスを作って、出資してもらおう② 15 後期のまとめ・時間調整日 16 期末試験 17 試験フィードバック・復習				
【成績評価方法】						
採点割合	テスト	実技	提出物	授業態度	出席率	その他
	3	2	0	2	3	
主に定期試験を30%とし、授業態度として授業への取り組みを見る。発言は授業態度に加味する。グループワークやディスカッションは、実技として評価。						
【授業の特徴・形式】						
講義形式を基本とするが、トピックによってはグループワーク、ディスカッションなども行う。また、会社に関する難しい語彙の習得をしなければならぬため、プリントや小テストなどで暗記にも力を入れる。						
【教員紹介】						
担当教員は、広告代理店および人材系企業において営業職として長年にわたり勤務した豊富な実務経験を有しています。また、教育機関における教務・事務等の学校運営実務にも携わってきました。講師歴も豊富です。本授業では、これらの企業実務者の観点から、実際のビジネス現場で求められる対人交渉力や組織適応力について指導するとともに、学校運営の知見を活かしたきめ細かな学習サポートを行い、日本の社会構造や経営戦略の本質を多角的に理解できる実践的な教育を展開します。						